

平成14年度

緊急課題委員会  
前期政策提言書

～ 浜松再生の足がかり～  
( 前期提言 )

平成14年8月



浜松商工会議所青年部  
政策提言系 緊急課題委員会

## その1

### 「W杯サッカーイベント後の施設利用、集客等について」 ～大規模イベント後の継続的集客、 土地施設利用について提言～

- . 提言理由 ……1
- . W杯サッカーでのアンケート結果と分析 ……1
  - 1 W杯来訪者へのアンケート集計結果
  - 2 アンケート結果の分析
  - 3 当日試合観戦をしたメンバーの意見
  - 4 エコパの分析と活用の提言
- . 大規模イベント後の施設利用、集客等について ……11
  - 1 「国体」
  - 2 「園芸博の跡地」
  - 3 「トイレはどこに？」
  - 4 「浜松再生の足がかり」となるために

## その2

### 「中心市街地活性化における松菱百貨店跡地 の有効利用について」 ～産業再生問題を経済的視点から捉え提言を行う～

- . 始めに ……1
- . 魅力ある中心市街地であるために ……1
  - 1 楽しく、出かけやすい街中
  - 2 利用しやすい駐車場
  - 3 魅力ある商品、サービスであれば、顧客は買いにくる
- . 点と点を結んで ……4
  - 1 ショッピング・モールの形成
- . 松菱跡地利用 ……7
  - 1 市役所誘致
  - 2 デパートの誘致
  - 3 浜松こどもの城
  - 4 全国から観光客を集客する施設の誘致
  - 5 「映画館博物館」

## 「中心市街地活性化における松菱百貨店跡地の有効利用について」

### ・始めに

2001年11月14日に破産した松菱百貨店は、戦前・戦後を通じて浜松のシンボルであり我々にとっても幼少の思い出のある場所でした。昨年破産し無くなってしまったのは実に残念ですが、これを一つの契機とし浜松の中心市街地活性化を模索したいと思います。

### ・魅力ある中心市街地であるために

大都市圏を除いた地方都市での都心商業から郊外商業への移行は、中心市街地衰退の原因の1つです。浜松市の場合も中心部では西武(1997/12)、丸井の撤退(1994/7)、松菱の破産に対し郊外ではショッピングセンターの新設、増設が相次ぎ、中心部から郊外へというながれはますます加速しているように見受けられます。近年の中心市街地は交通の要所である浜松駅、アクトを中心とする文化施設、市役所、法務局などの行政機関そして商業施設、娯楽施設が徒歩圏で集積しています。定住人口増加を目的に都市型高層集合住宅の供給もすすんできました。このようにハード面での整備が進行してもなぜ郊外化の流れは変わらないのでしょうか?その答えとして過去の調査報告、アンケート、提言書には集約すると次の2点が必ず課題として提起されています。

#### 1. 楽しく、出かけやすい街中

まず、「楽しい街中」ですが、購買者の購買意欲を満足させる店舗、品物が充実していることはもちろん、買物などの目的がなくても出かけたくなるような街中ということです。次に「出かけやすい街中」ですが、自家用車で駐車場を利用する場合の課題が繰り返し指摘されています。いくら「楽しい街中」でも「出かけやすい街中」でなければ集客は困難です。全国的にも自動車保有率が高く(資料1)利用割合の高い(資料2)浜松市では利用しやすい駐車場は、中心市街地においても必要不可欠なものです。

資料1：都道府県別自動車保有台数

平成13年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
愛知	東京	神奈川	大阪	埼玉	北海道	千葉	福岡	兵庫	
4,681,239	4,623,017	3,859,225	3,770,763	3,705,010	3,590,674	3,256,555	2,987,865	2,854,689	
10	11	12	13	14	15				
静岡	茨城	長野	広島	新潟	群馬				
2,646,623	2,258,997	1,789,114	1,740,977	1,717,759	1,643,894				

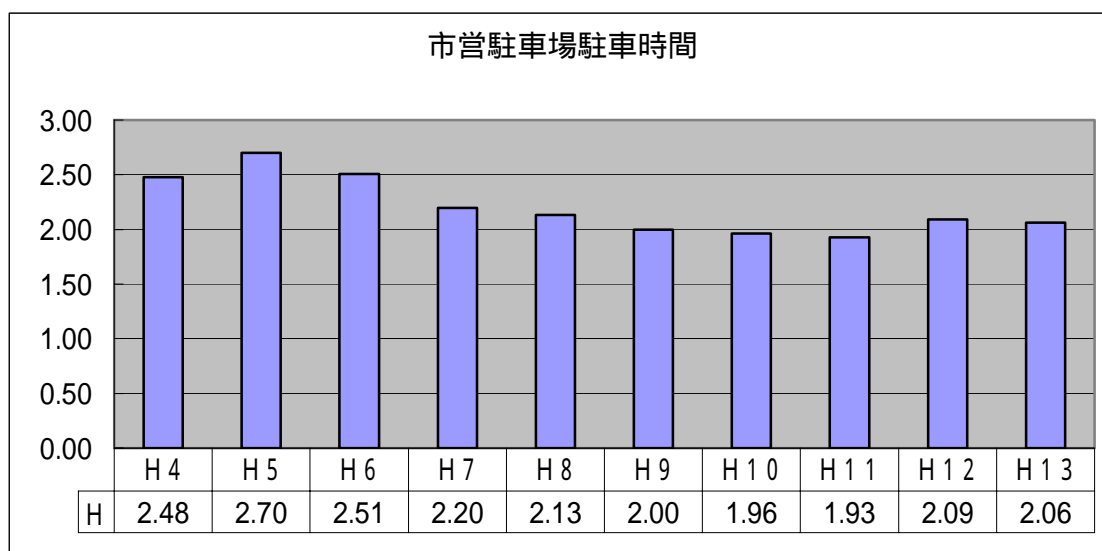
資料2：静岡県における乗用車数(平成13年4月1日)

乗用車数					
浜松	静岡	沼津	清水	熱海	三島
233,297	189,779	86,526	83,717	11,919	40,001

## 2. 利用しやすい駐車場

過去の市民アンケートでも、駐車場の増設と低料金化は例外なく指摘されています。近年の市街地では再開発事業などにより駐車収容台数は以前と比較してかなり増加しましたが、料金においては数年前の値上げ以降一部を除きほぼ横並びの状態です。仮に駐車料金がさほど負担と感じられないほどの設定であった場合、どのようなことになるのでしょうか？利用者の増加は当然として、街中滞留時間（資料3）の増加も考えられます。今までより時間を気にせずに用事を済ませることができるようになり、今まで覗くことのなかった店舗に入ってみるかもしれません。また、更に料金を弾力化することはできないのでしょうか？街中の商業地の駐車場は土曜と休日の昼間が利用のピークです。（資料4）平日の昼間や夜間の稼働率を上げるための割引制度は考えられないのでしょうか？高速道路の収益に関するプール制が議論されていますが、築年数が古く投資の回収が進んだ駐車場の利用料金をおもいきった料金に下げることができないのでしょうか？現状においては、立地にもよりますが、設備が新しく償還途中であろう駐車場のほうが既存の築年数の経過した駐車場と料金設定が同等か安価であるように思われます。郊外化の流れが止まらない現在、日本全国どこの地方都市でも実行したことの無いような、思い切った方策が中心市街地には必要な状況です。

資料3



### 2 - 1. 今日だけ市営駐車場無料サービスでい

1日ぐらいこのような日があってもいいかもしれません。なにしろ課金されないのですから入庫と出庫にいくら時間がかかろうが問題はありません。実施に伴い、出入口付近の道路は混雑が予想されますので、地元自治会や警察、民間駐車場などとの綿密な事前対応が不可欠です。しかし、仮に民間駐車場が通常料金で営業していても、一定額の買物をして駐車料金の負担を軽減しようとする利用者や混雑を避けたい利用者はそちらを選択するのではないのでしょうか。

### 2 - 2. 1時間200円、ドコモお買い物1000円以上で1時間無料化

過去のアンケートで、駐車料金の低下を望む声は毎回多数あります。安ければ安い程、限りなく無料に近い程ということですが、1時間200円ではどうでしょうか。

資料4

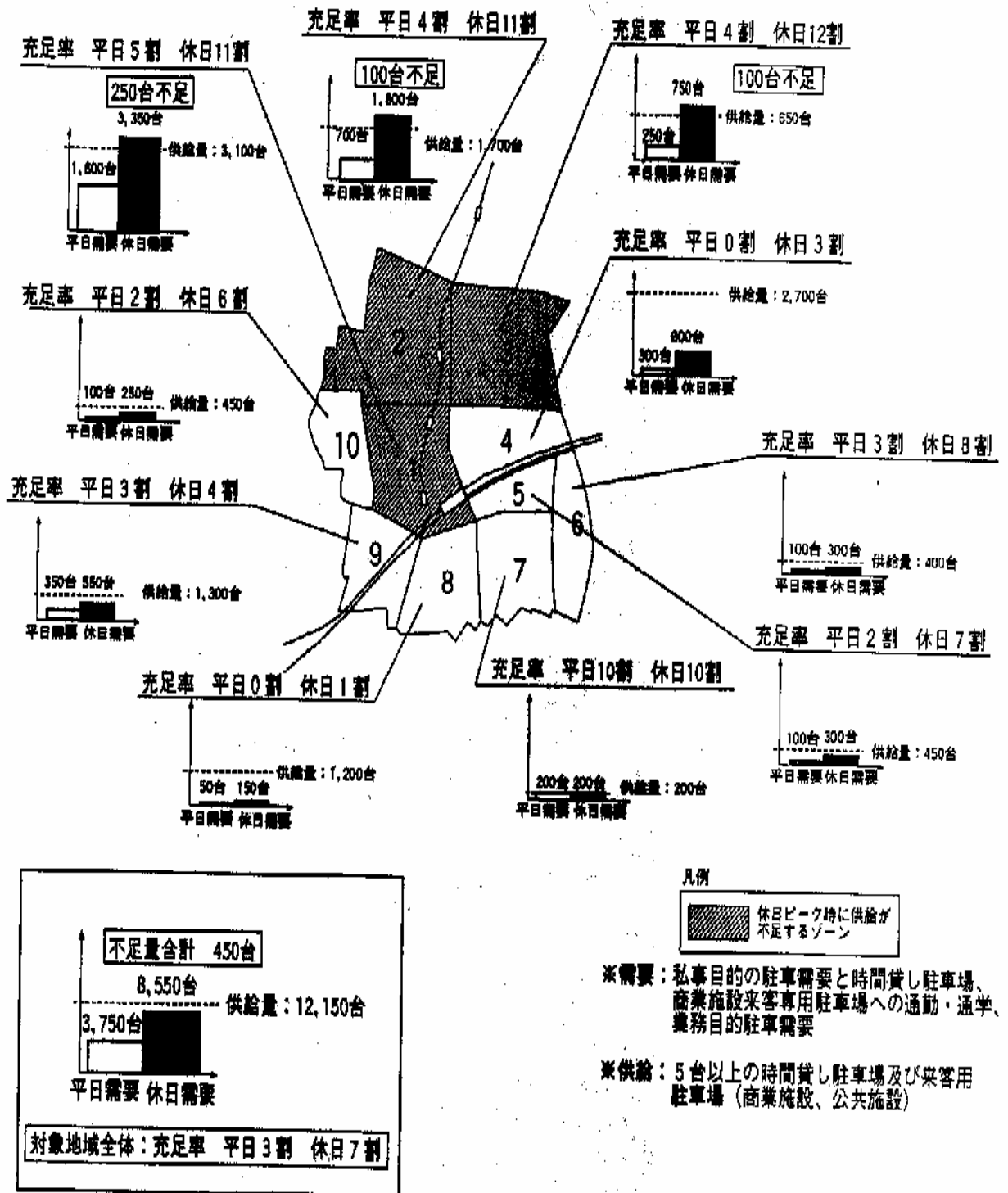


図 推計による現況の需給バランス

現行の3分の2の水準です。計算も簡単です。ここで重要なのは最初の30分間も同様に100円と

ということです。

この料金体系に従来からのお買物金額による無料化を組み合わせ、今までは各個店、大型店別におこなっていた無料駐車サービスを統一し「加盟店のどこでお買物をしてその合計額で駐車料金サービス」というような方法をとれば利用者の負担はかなり軽減されるのではないのでしょうか。例えば、加盟店で合計 5000 円の買物をしたとします。これで 5 時間分は駐車料金が無料になるとすればほとんどのお客様には十分な時間を提供できます。

## 2 - 3 . どこでも、いつでも 1 時間 100 円

きわめて明快に 1 時間 100 円ではどうでしょう。これくらいの料金水準なら、お買物金額による無料サービスは併用せず必ず利用者に駐車料金を負担していただいたほうが全体のバランスがとりやすいのではないのでしょうか。例えば、買物額により利用客が受け取っていた相当額を直接加盟駐車場へ実績に応じて還流し、間接的に駐車場料金を低下させるような方法を前提に検討しなければなりません。しかし、どの方法をとるにせよ、実行するための資金、駐車場固定資産税の軽減などの間接的な支援、民間駐車場経営者、加盟店の協力が不可欠であります。期間を定めた試行実施、春、夏、秋祭りなど他のイベントと補完し合うような単発的实施により問題点を明らかにしていくことも判断材料を得るうえで重要です。

## 3 . 魅力ある商品、サービスであれば、顧客は買いにくる

これは当然のことです。交通手段に対価を払っても店頭に出向き、買物をするにより顧客は満足を得るわけです。負担感を満足感が上回っているからだとならえることができます。この負担感をより少なくすれば、相対的に満足感上がるはずで、通信販売の場合も同様です。通常は注文する人は送料を負担します。しかし、よく見受けられる、一定額以上の買物の場合は送料無料というサービスがありますが、これはまさしく定額以上買物時の駐車場無料のサービスと同様です。双方ともに顧客の負担を少なくするという共通点があります。「楽しい街中」であるために、売り手側の努力が必要なのは当然ですが、中心市街地までの交通手段に約半数が自家用車を利用し、極端に郊外型商業の集積がすすんだ浜松市においては、どのような方法をとるにしろ、市民にとって負担感を感じない水準まで駐車料金が低下し、市民が気軽に楽しさを享受できることこそが、今後の最優先の課題であると考えます。

## ・ 点と点を結んで

大きな箱物（百貨店）だけが人が集まり、人が回遊せずに帰ってしまうのはそれが街と言えるのでしょうか。それでは郊外の店舗と変わらないでは。街と呼ぶには大きな箱物（百貨店）だけではなく、その間を結ぶ通りの店舗に魅力が無ければいけないと思います。

## 1 . ショッピング・モールの形成

松菱単体で客を呼び込むというよりも、周辺地域・メイワン～ザザシティまでの区間のショッピングモールの形成と平行して計画を展開するのがベストと考えます。

最近の良い例として、2002年6月26日の日経（資料5）に出ていた森ビル「六本木ヒルズ」の計画は、基本的には松菱を中心とした市街地の活性化にあてはまると考えます。

資料5

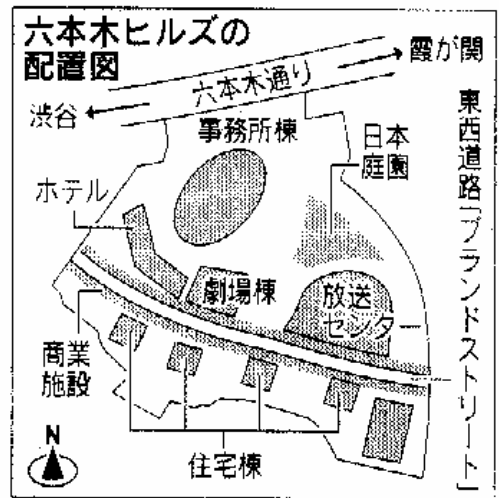
独ヒューゴボス／仏バカラ…

# 海外ブランド 六本木に60店

森ビルは二〇〇三年春に開業を予定する再開発事業「六本木ヒルズ」(東京・港)の商業施設部分の概要を固めた。全二百店のうち、紳士服の独ヒューゴボスや高級クリスタル製品の仏バカラなど約六十の海外ブランド店が出店。東京・銀座などに対抗する高級店舗街に育てる狙いだ。

## 森ビル「ヒルズ」テナント固まる 通り沿いに集結

商業施設の合計店舗面積は約四万平方メートル。物販で百二十店、飲食で六十店、サービス施設で二十店が入居する。各店は六本木ヒルズ内を横切る東西道路と呼ぶ地区に出店、この東西道路が「ブ



ランドストリート」となる。海外ブランドで出店するのはヒューゴボスのほか伊高級衣料のロロ・ピアーナ、仏婦人服のクリスチャン・ラクロワやレオナルドなど。米バッグブランドのコーチも出店を前向きに検討している。

る傘を扱うなどユニークな専門店も集める。

各ブランドとも六本木ヒルズの店舗を日本での中核店舗と位置づける。ヒューゴボスは売り場面積五百平方メートルの大型店を設ける。

六本木ヒルズはオフィスビルや住宅棟など十二

棟の建物を建設する大規模事業。年間米

場者は二千四百万人を見込んでいます。

### 食品表示検査 定期的に実施

百貨店と食品業界  
日本百貨店協会(小柴

メイワンからザザまでの裏ストリートアーケード化します。

この区間は店舗が少なすぎます。もっと魅力あるアーケードを形成しないと、客足は遠のくと思われれます。

具体的には、ラスベガスのショッピングモール(資料6)のような作りが人気を呼ぶのではと考えています。毎月アトラクションを催すなどの企画を常に考え、魅力あるアーケードを形成します。

これで新たな消費区画ができあがり、客が集まります。

アーケードに出店する店舗はブランド店が強いと思います。

ただし、ブランド店&そのアウトレットのみでアーケードを形成すると、中心街の活性化には効きますが、地元商店街の活性化という点には疑問が残ります。

他方、地元商店街のみでアーケード街を作るとすると、扱う品物を考えると郊外型大店舗と競合する品目が多く、駐車場が有料ということもあり、集客するにはかなり苦労すると考えられます。

よってアーケードの店舗は、賃貸による区分所有とし、ブランド店と地元商店を混在させる形式とします。お互いが切磋琢磨し、店としての魅力を形成します。

このとき大切なのはアーケードを形成した後も、訪れる客を飽きさせない企画を常に打ち出す努力を欠かさないことです。

よって、PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)による運営が最適と考えます。

#### 資料6





## ・松菱跡地利用

### 1. 市役所誘致（資料7）

現在手狭になった市役所を、松菱跡地に移転したらどうでしょうか？職員を含め1日数千人の市場が街中に出来上がります。

現在の市役所

現在の市役所は取り壊し跡地を公園として市民の憩いの場とする。

松菱駐車場

公用車及び障害者・老人用とする。

来庁者用駐車場

現在の市役所地下駐車場を拡大し、市役所来庁者用とする。

駐車場の料金は来庁者に付いては基本的に数時間無料とし、市役所で多くの時間がかかる場合は他の証明で無料とする。

駐車場から市役所までの交通手段としては、徒歩・貸し出し無料自転車又は浜松市循環まちバス「く・る・る」とし、「く・る・る」を利用する場合は市役所で料金の払い戻しを受ける。

休み対策

平日は多くの人々が来ますが、土日祝日は休みのため人は来ません。その対策として市役所1階にイベントホール等を設置したらいかがでしょうか。

資料7

市役所・松菱跡地対比

	敷地 (㎡)	延べ床面積 1	延べ床面積 2	延べ床面積合計
松菱跡地	4,837	(本) 26,234	(新) 12,084	38,318
市役所	16,092	(旧) 9,142	(西) 26,916	36,058

市役所・松菱駐車場対比

	駐車台数合計	備考
松菱	2 1 5	
市役所	2 6 9	一般：1 9 2、公用（議員含む）：7 2、身障者：5

市役所車両（本庁関係）：1 5 0 台（駐車場：下水道部南・測候所横・日管パーキング）

市職員（本庁）：約 1, 5 0 0 人（非常勤含む）

来庁車両：約 1, 8 0 0 台 / 日

## 2 . デパートの誘致

浜松に 1 店舗のデパートでは実に寂しいです。是非とも他のデパートにきてもらい中心街の起爆剤となってもらいたいです。ただし在来型の百貨店で営業しようとする、容積が小さいので、高級ブランド店に出店していただきます。

コンサバティブな面を強く出しているのが高級ブランド店であるから、現行の松菱のファザードは充分使える。内装を高級化する事で対応可能だと考えます

### デパート誘致資金募集

現在の社会情勢ではデパートの方も来にくい状態だと思います。では、来やすくするにはどうしたらよいのでしょうか？

デパートの負担金を少なくする事だと思います。その方法として市民に出資金を募り資金を集め負担金を少なくする事は出来ないでしょうか。

たとえば 1 口 1 万円の出資金を 5 0 0 0 人から集めればそれだけで 5 0 0 0 万円となります。

## 3 . 浜松こどもの城

少子化が叫ばれて久しいです。子どもの減少とともに街中で子どもが遊ぶ場所が減少してきているように思います。私達が子どもの頃には、松菱の屋上・西部の屋上・やまたかやがありました。又少しはなれて児童会館。そんな楽しい場所があったから街中に行くのをせがんだものでした。ところが最近はどうでしょうか。松菱があった頃でもいつしか屋上の遊び場は無くなり児童会館は無くなり科学館は街中から離れ、街に行っても子どもの遊び場がいつしかゲームコーナー以外なくなっているのではないのでしょうか。

少子化の中、年よりは孫にお金を使うと言われてます。子どもが街中に行きたくなれば同伴者である親や年寄りが一緒に来て金を使い街中が活気つくのではないのでしょうか。

### 具体的

1 階：ギャラリースペース・公開スタジオとして貸し出す（待ち合わせ場所として利用）

（銀座 4 丁目日産ショールーム）

2 階以上浜松こどもの城

2 階：癒し館

熱帯魚・金魚館。(水族館は全国に多くあるが熱帯魚・金魚の展示館は少ない)

又、音でも癒せれる空間を作る。

### 3階：体験館

定年退職した人々に依頼し子ども達が身体を動かし自分達で考え・作る喜びを味わってもらおう。(例：竹笛製作・藁ぞうり製作・紙飛行機・木工製作等)

### 4階：デジタル館

光を使ったものの展示体験が出来るようにする。又、パソコンを使った学習スペースとする。

### 5・6階：おもちゃ館

玩具メーカーに協賛してもらいおもちゃを使って遊べる場所とする。

(レーシングカーサーキット場・プラレール・ベググレード等)

入場料：2階以上は入場料を取ることにする。(大人300円、幼児以下無料、小学生50円、中学生以上100円)

再入場：当日何度でも再入場が出来るようにする。

(再入場が出来る事によって、子どもが遊んでいる間に街中で買い物出来るようにする)

参考：子どもの城(東京青山)

## 4. 全国から観光客を集客する施設の誘致

・松菱跡地に全国的に有名となるような施設を作り、全国から観光客を集客する。その波及効果として中心市街地に集まる人を増やし、活性化につなげる。

### ・ターゲット

小学校・中学校・高校の修学旅行客を主なターゲットとする。

理由： 浜松は全国からアクセスしやすい場所にある。

温暖な気候を生かし、年間を通じた需要が見込まれる。

修学旅行生を対象とした新たなビジネスチャンスが生まれる。

修学旅行の目的に適した、既存の観光・見学施設が生かせる。

浜松のイメージアップにつながる(保護者の認知度も上がる)。

### ・調査

修学旅行にはどのようなところ(地域・施設)に行くのか(特に東京圏・関西圏の学校)の調査。

教育委員会等に、理想的な修学旅行先のヒアリングを行う。

父兄にとって「行かせたい」修学旅行先をアンケート調査。

修学旅行先として人気のある施設を訪問調査。

### ・参考とする施設イメージ

「三鷹の森ジブリ美術館」「手塚治虫記念館」「横浜ラーメン博物館」

## .. 跡地活用の具体例

5階建ての博物館（美術館）を建て、以下のように活用  
（「浜松」の特色だけにこだわり過ぎない）

フロア	テーマ	コーナー例
5 F	食文化 観光	食堂街、おみやげ、凧作り体験コーナー、「練り」体験コーナー
4 F	スポーツ	サッカー博物館、オリンピック博物館
3 F	産業 スポーツ	バイク博物館
2 F	産業	浜松産業博物館、ベンチャー起業体験館
1 F	歴史	浜松歴史村

- ・展示内容、イベント企画を定期的に変えていくことにより、修学旅行客はもちろん、地元客にとっても「いつ来ても家族で楽しめる」ことを目指す。
- ・「体験型」の施設を目指す。
- ・地元の各種みどころ（蛸塚遺跡、浜松城、楽器工場見学等）とのリンクを図る。
- ・上の例では、コンセプトが不明瞭で統一感に乏しいので、統一コンセプトを工夫する。

## 5 .「映画館博物館」

これは「映画の博物館」ではなく、「映画館の博物館」である。映画が誕生して100年余り、映画の歴史とは切っても切り離せないものがある。映画館である。リュミエール兄弟が世界で初めて、現在の映画館に最も近い形で映画フィルムを上映したのは1895年頃である。その後、映画の普及とともにその映画を上映する環境も大きな変遷をたどった。映画文化を語る時、創り手からみた映画作品そのものも重要だが、それを観る側の立場としての「映画館」もまた貴重な映画史の一面である。言ってみれば、映画文化の裏方としての映画側面史である。そこに焦点を当てて、博物館という形で研究・展示・紹介する、というのがこの「映画館博物館」の構想である。

展示 映画館の歴史（映画小屋からシネコンまで、そしてデジタル映画配信へ）

展示 映写機の歴史（35mm、16mm、8mm、70mm）

展示 フィルムの歴史（セルロイドから不燃フィルムへ）

展示 スクリーンの歴史（布からシネラマ用スクリーンまで）

展示 映写技師の歴史

展示 活動弁士の歴史（日本独特の文化）

展示 映画字幕の歴史（字幕ができるまで）

設営 「理想のミニシアター」

客席100程度のミニシアターを博物館内に創り、定期的に映画上映・映画講座を開催していく。  
洋画・邦画を問わず、映画に関する全ての催し物を行います。

「浜松映画祭」を企画し、映画産業の需要を創出します。

洋画・邦画の再放映を行い、アミューズメント施設の充実を図ります。

スタジオを建設したり、市街地をロケで使用可能としたりして、若手映画人の創出、映画の町浜松としての性格を明確化して、日本映画産業の中心となります。

以上様々な企画を通して、松菱を日本における新たな映画産業の発信基地として活用を図ります。

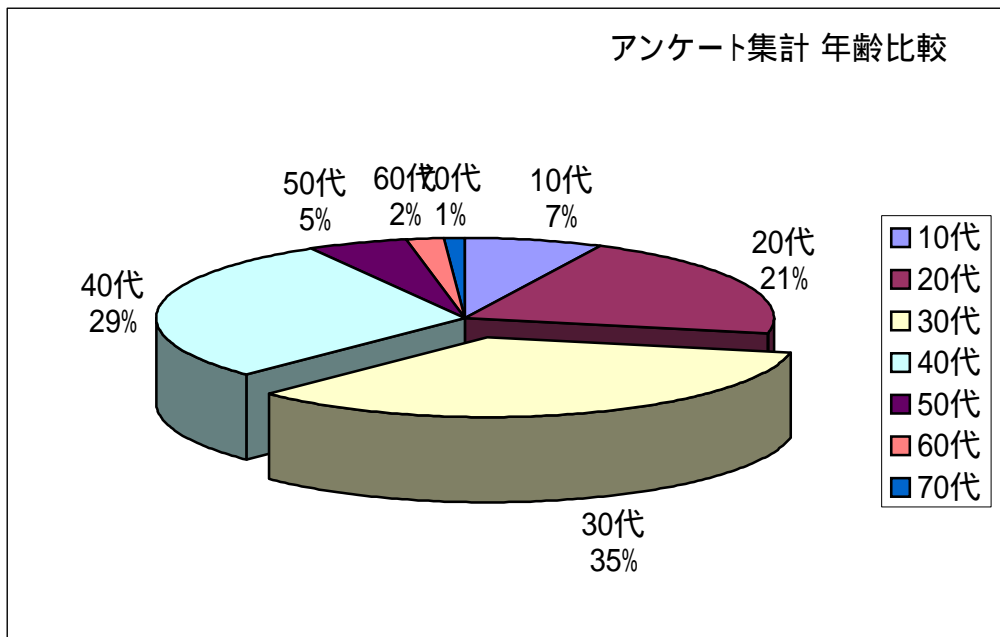
## 2、アンケート結果の分析

性別

- ・男性が多かった（サッカーだったからか？）

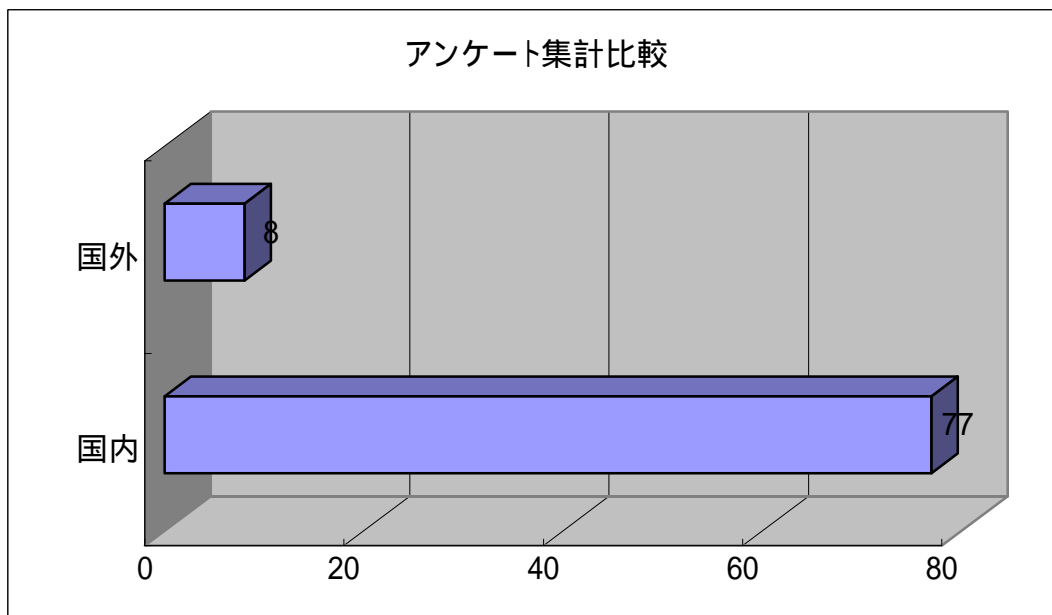
年齢

- ・30～40代の方は、家族観戦者もいた（10代の子供を連れた親子）
- ・20代は友人同士複数で来ていた。



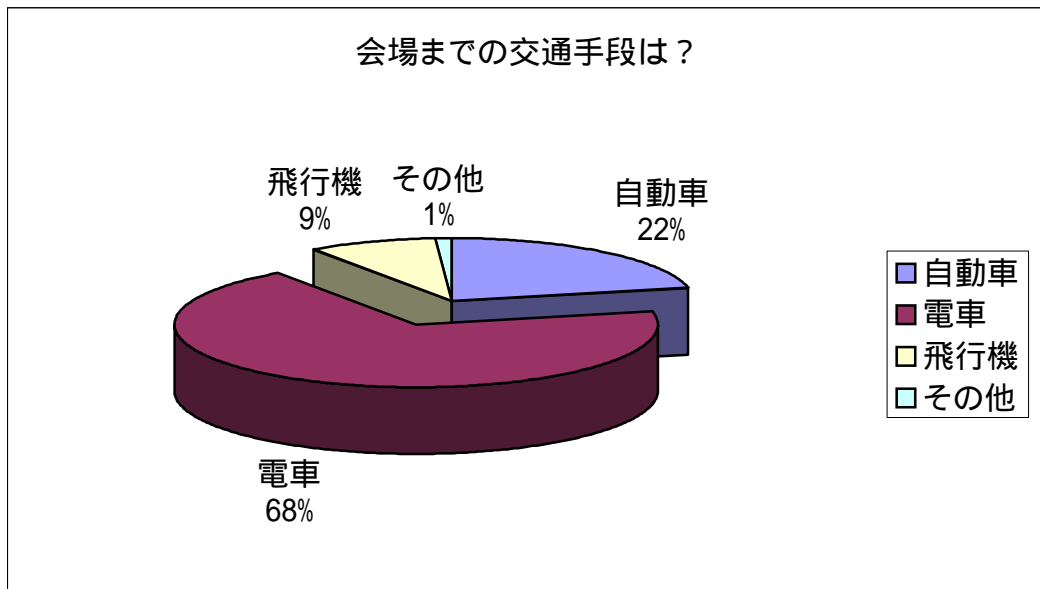
どちらから、お見えになりましたか？

- ・アンケートに回答いただいた人は国内の人が多かったが、実際エコパに観戦に来られた国外の人はどこに泊まったのかな？
- ・東京や名古屋かな（宿のPR不足か？国際空港の関係か？）



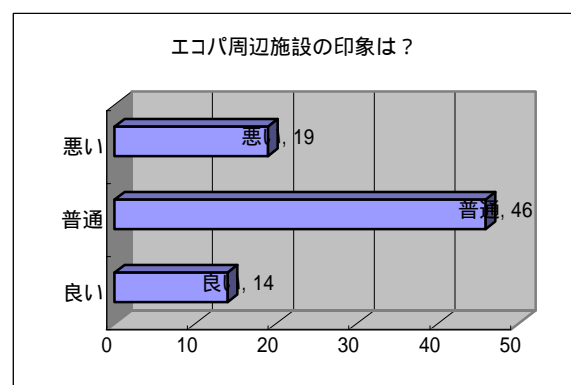
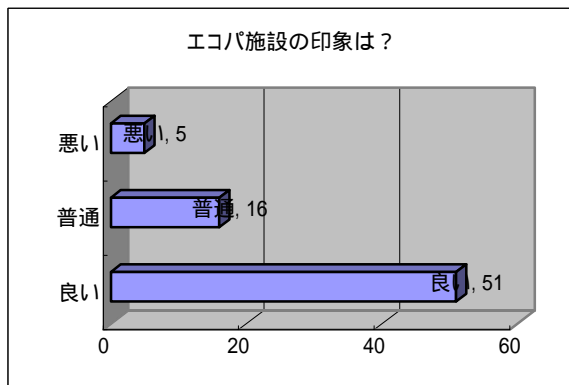
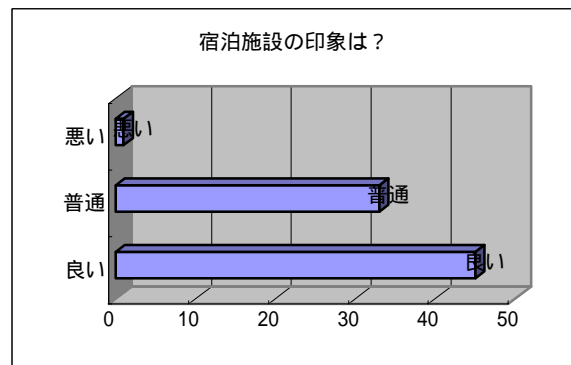
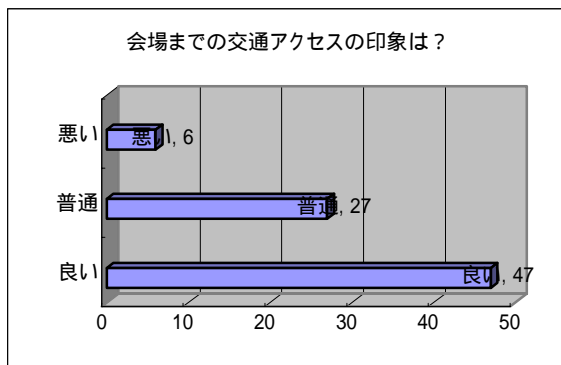
当地までの交通手段は？

- ・ 電車での来訪者が多かった。
- ・ 愛野駅がすぐ近くで電車の便が良かったか逆に他の交通手段が不便だったか？
- ・ 駐車場の施設が整っていれば、車で来る人が増えるのか？
- ・ シャトルバスを使った人もある。



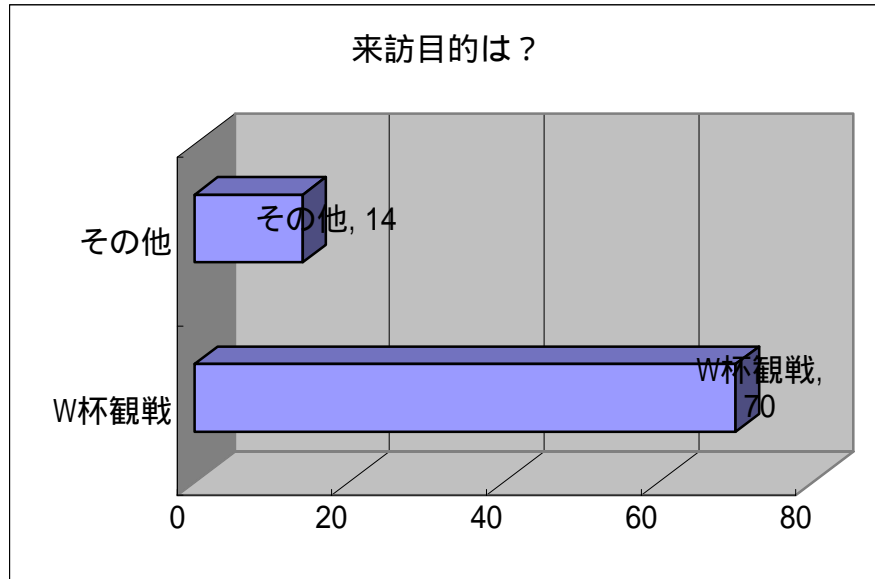
交通アクセス・宿泊施設・競技場施設・周辺施設の印象は？

- ・ 交通アクセス・宿泊施設・競技場施設の印象は、良い印象が多かったが周辺施設の印象は悪いという答えが多かった。



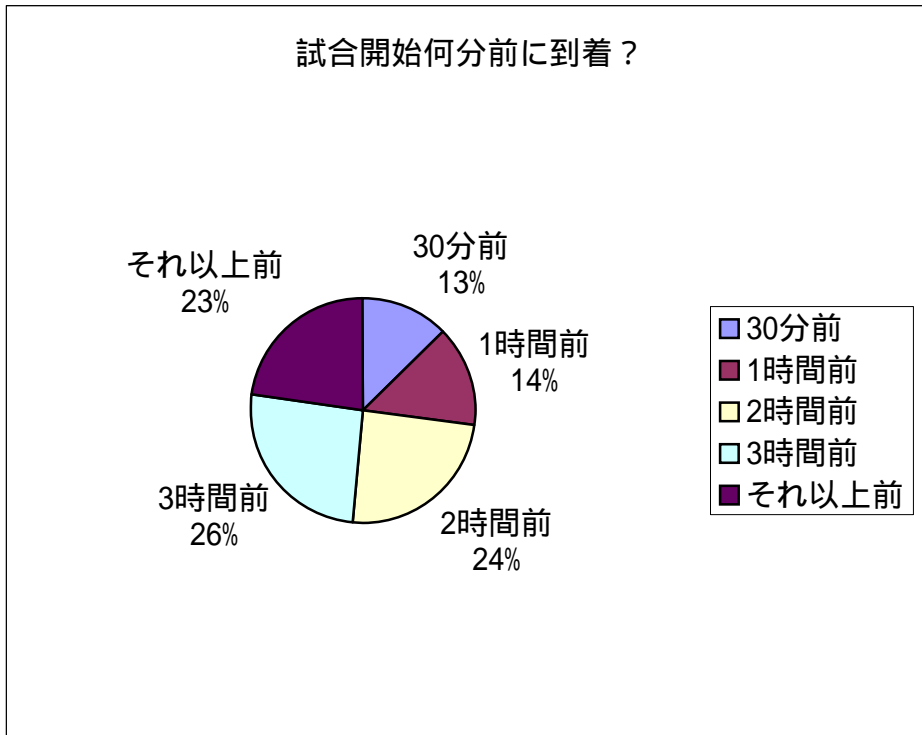
今回、来訪された目的は？

- ・ほとんどの人が、W杯観戦の為に来訪された。
- ・その他の観戦目的ではなく取材等大会関係者で全く関係のないひとは1～2人だった。



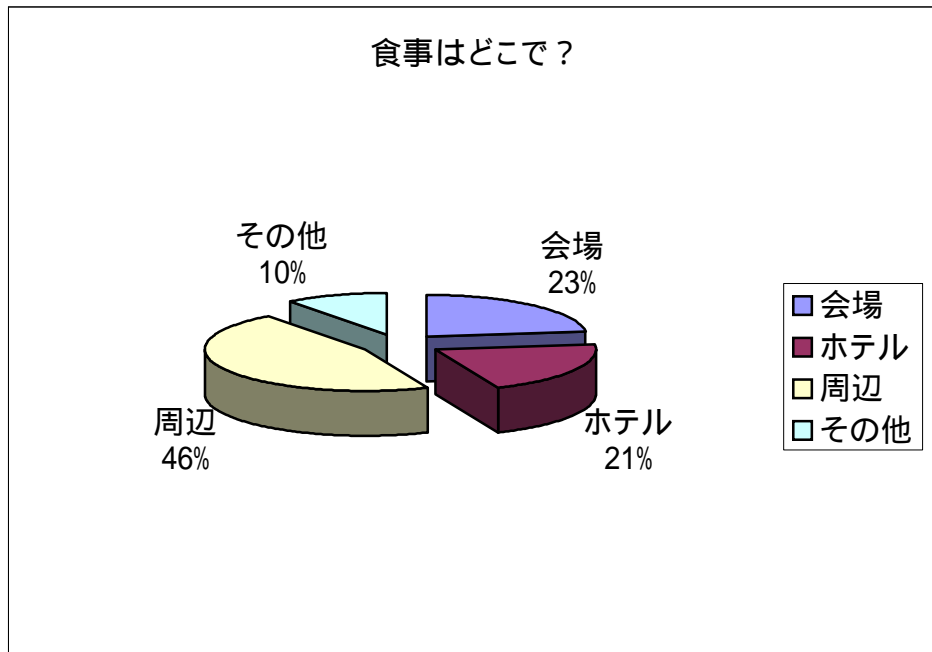
W杯観戦者に質問です。エコパへ到着したのは、いつ？

- ・70%近くの人(3万人)が2時間以上前に来て、飲食・トイレ等はどうだったか？
- ・2時間くらい余裕を見ないとアクセスに不安だったか？



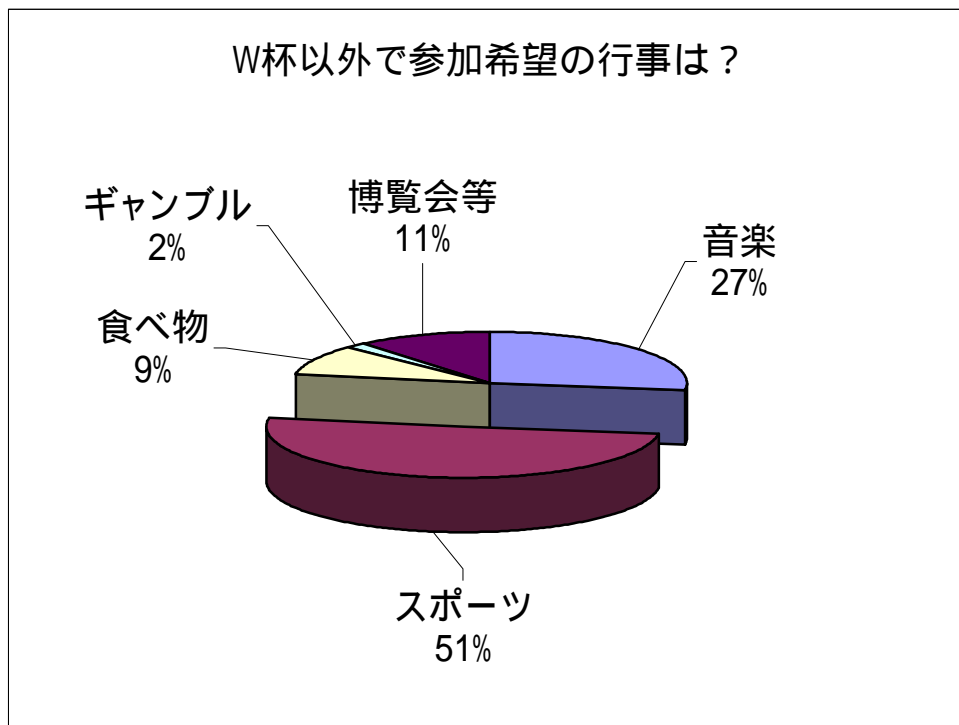
当地域内でお食事をされた方に質問です。どちらで食事を済ませましたか？

- ・浜松駅周辺で食事をした人が多かった。
- ・その時、飲食店の印象はどうだったか？



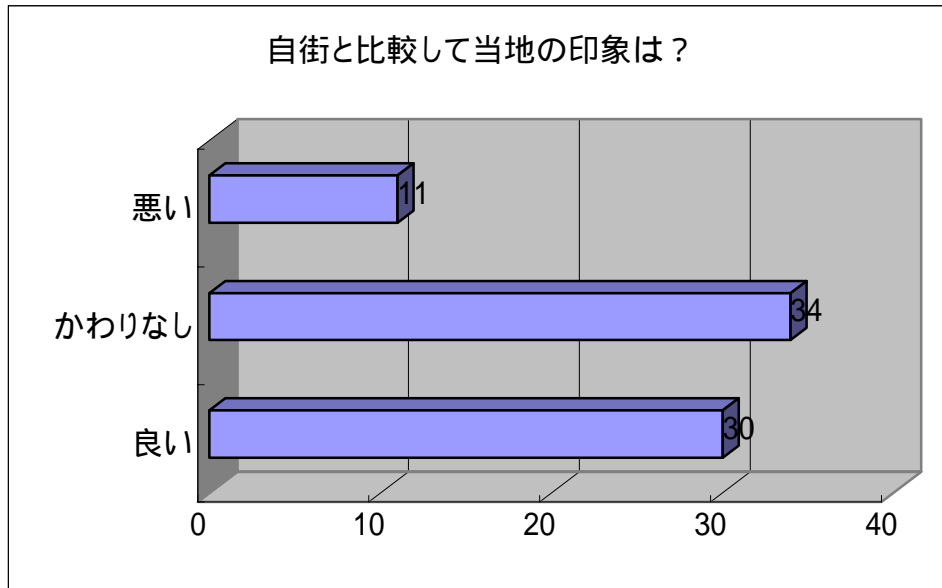
今後、貴方の行ってみたい・参加してみたいイベントを教えてください。

- ・スポーツのイベントだった為、今後のイベントもスポーツという回答が多かった。
- ・次に多かった音楽というのは、人気アーティストのコンサートを期待するのか？



貴方の住んでいる街と比べて、当地の印象は？

・変わらないと言うのは、特色がなかったということか？



・悪いと回答された方からのご意見

1. 東京と比較しても、飲食店の値段は決して安くない。これでは、客が根づかないのでは？
2. 安いチェーン店ではない居酒屋が多い
3. ドラックストア等、専門店が少ないと思う。
4. 夜、食事をする所が少なすぎる。
5. 浜松のロータリーは、私達のようなベビーカー族には歩きにくいです。地上で反対側に渡るのが大変でした。
6. W杯会場に行く迄の間にゴミ箱が無かったのが不便でした。
7. W杯にしては小さすぎる。(香港人)
8. 英語を話せる日本人がもっと必要(スペイン人)  
貴方の住んでいる地域の自慢の場所を教えてください。

・万博公園・競技場・ガンバ・埼玉スタジアム2002・匠の宿・ショッピング天国(シンガポール)・ニュルンベルグ(ドイツ)・等々力競技場(川崎フロンターレ)・エジンバラ城(スコットランド)・ホテルメルカークラブ(香港)・蔵王連峰・松島・青葉山・田んぼ・砂浜の美しい海・静かで自然が残っている事・東京へのアクセスの良さ・郷土文化がある・大山・海・永平寺・東尋坊・横浜国際競技場・さいたま新都心・中華街・長浜城・チェジュアイランド(韓国)

以上のご意見をいただきました。

郷土文化的なもの、自然、W杯のイベントだけに地元のスタジアム、この3点に集約されていると思われます。

## 『アンケートの総論』

・今回のアンケートの中で、今後のイベントの集客という観点から、必要とされることは以下の事と考える。

- 1．エコパという施設は良いが、周辺の施設がまだ充実していない。よって今後エコパでの各種イベントに来訪する人が待ち時間・愛野駅から会場迄の道程・トイレ・飲食等に不便を感じさせないようにエコパ・愛野駅周辺の整備が必要だと思われます。
- 2．国際的イベントとなれば、国外の来訪者にも宿泊してもらう為に静岡空港周辺施設の充実が必要です。
- 3．イベント会場周辺施設の一つとして地元を売り込む施設が必要でしょう。

## 提言 その1

### 「W杯サッカーイベント後の施設利用、集客等について」

#### ・提言理由

平成14年開催の「ワールドカップサッカー大会」を皮切りに平成15年に「New わかふじ国体」平成16年に「浜名湖国際園芸博覧会」と浜松市周辺地域での大規模イベントが目白押しです。このような状況の中、「イベント後の集客(リピート)と土地施設の有効利用」が今後の課題となります。

迫りくるイベントに対して、浜松市とその周辺地域の魅力を探り必要であればソフト・ハードに関らず魅力となるものを作り出すことも念頭に置いて、本年6月に行われた「ワールドカップサッカー大会」の状況を調査研究をし、大規模イベント後の施設利用や集客のあり方について緊急且つ具体的な提言をおこないます。

#### ・W杯サッカーのアンケート調査結果と分析

6月11日、14日、21日に「エコパ」で行われた「W杯サッカー」には、国内外から多くのサポーターがエコパ周辺地域の宿泊施設を利用しました。宿泊施設の数や利便性の面で浜松市内の宿泊施設を利用された方も多く、我々は主要宿泊施設にお願いをしてアンケートを実施致しました。その結果分析と当日観戦者の感想意見を集約しました。



## 1、W杯来訪者へのアンケート集計結果

.性別            男性 63名        女性 25名

.年齢            (10代) 7名    (20代) 20名    (30代) 33名  
                  (40代) 18名    (50代) 5名    (60代) 2名    (70代) 1名

.どちらからこられたか

日本 77名 (千葉・長野・静岡・神奈川・名古屋・埼玉・東京・兵庫・横浜  
宮城・岐阜・三重・広島・大阪・香川・川崎・島根・鳥取・長崎・滋賀)

海外 8名 (ドイツ・韓国・クロアチア・フランス・香港  
シンガポール・スコットランド・スペイン)

.交通手段

自動車 20名 電車 63名 飛行機 8名 その他 1名

.下記の案内等の印象は？

・ 交通アクセス	(良い) 47名	(普通) 27名	(悪い) 6名
・ 宿泊施設	45名	33名	1名
・ 競技場施設	51名	16名	5名
・ 周辺の施設	14名	46名	19名

.来訪された目的は？

W杯観戦 70名        その他 14名

.W杯観戦者に質問 エコパへの到着は？ 試合開始前？

30分前	9名	1時間前	10名	2時間前	17名
3時間前	18名	それ以上	16名		

.お食事は？どちらで済ませましたか？

会場内 18名    ホテル内 16名    周辺の飲食店 36名  
その他 8名 (一兆・木船寿し・浜松駅近辺)

.今後、行ってみたい・参加してみたいイベントは？

音楽	32名	スポーツ	59名	食べ物	11名
ギャンブル	2名	各種博覧会	13名		

.貴方の住んでいる町と比べて、当地の印象は？

良い 30名    かわりなし 34名    悪い 11名

### 3、当日試合観戦をしたメンバーの意見

#### {単純にエコパの感想(ワールド杯)}

- 1、ただ楽しかった。
- 2、駅からスタジアムまで遠かった、
- 3、帰りが大変だった、
- 4、ボランティアは素晴らしかった。
- 5、JAWOC は許せん。
- 6、電車、駅が混むのは仕方ないとして、会場までのアクセスが遠い！(駅付近には店屋、付近の自治体の宣伝小屋くらいはあったが、その先にゆっくり見ながら歩く(時間を感じさせない)施設がない=セキュリティーの問題で仕方ないか?)したがって余計遠く感じる。
- 7、入り口付近のセキュリティーチェック(これもずいぶん手前側)~会場入場までが更にぐるっと迂回しないと行けなかった。
- 8、会場の中、会場直近に施設がないので時間つぶしが出来ない(早く行った人がくつろげない)
- 9、施設は良い、綺麗!見やすいと思う
- 10、会場内が電波状況が悪い(携帯電話・携帯テレビ=日本 VS チュニジア戦)
- 11、会場外にチケットを持たない人のための遊び場 町全体で盛り上がる雰囲気=賑わい)がなかった(これも W 杯初心者のためか)
- 12、愛野駅から意外と距離がある わりに周りにお店がない
- 13、スポーツ公園だとすると駅の周りが公園らしくない(中途半端)
- 14、スタジアムの中はいすといすの間があり座りやすいしグラウンドも良くみえる
- 15、国立よりずっと良い
- 16、欲をいえば売店がもっとあればなお良い。

#### {今後エコパに期待するもの}

17、他府県の方 たぶん関東方面の方でしたが、エコパという会場の知識がなく電車から突然現れる会場に、ここもやっぱり田んぼの中の会場なんだと言ってました。交通の便が悪いなど、急遽作った駅だとか、たぶんワールドカップ終わったら一時間に一本だよ電車とかどちらかというと、どうしてここなのかな?という印象でした。

18、先日テレビで茨城スタジアムの話をしておりました。試合後の維持費がかかり、思い切ってつぶしちゃうかな?なんて過激な意見もでておりました。今後身障者のオリンピック会場として毎年活用し、茨城スタジアム=身障者オリンピックというイメージ作りをしようという意見も出ておりました。多目的スタジアムではなく、ある特定の会場としての全国的イメージ作りを考えておるようです。

19、毎年大きなイベントが継続的に行われ、それによって地域の活性化を目指しているようです。例えば高校野球で毎年使われる甲子園が高校野球の聖地として有名であるように、静岡県 = ? 会場として活用したら良いと思います。

20、ブラジルがイングランドを破った記念すべき会場なので、毎年ブラジル代表対日本代表試合とか、イングランドのリベンジで毎年対決するとかどうかな？

21、エコパカップなんか作ってその年の最優秀選手の銅像や記念館も面白いかも・・・

22、大規模スポーツ公園とするなら駅をおりたら、家族でも楽しめるスペースをもっと作るべきで(たとえば芝生の丘があり、そこからソリで滑り落ちる場所)それも改札をでたらすぐにそんなものがあるとか

23、スタジアムに行くのにスポーツを楽しみながら行くとか(たとえばローラーブレード)若い二人に似合う木陰がいたるところにあって、芝生があって、何でも自由すべてOK(何を意味しているのだろう)

24、いろんなスポーツイベントを誘致するのはもちろんだけれど、コンサート等の芸能活動の誘致も積極的にして、なるべく若い世代にスポーツ公園にきてもらうようにする。世の中にあるスポーツというスポーツはエコパに行けばすべてあるぞみたいな。



・大規模イベント後の継続的集客及土地施設利用についての提言

1、国体への提言

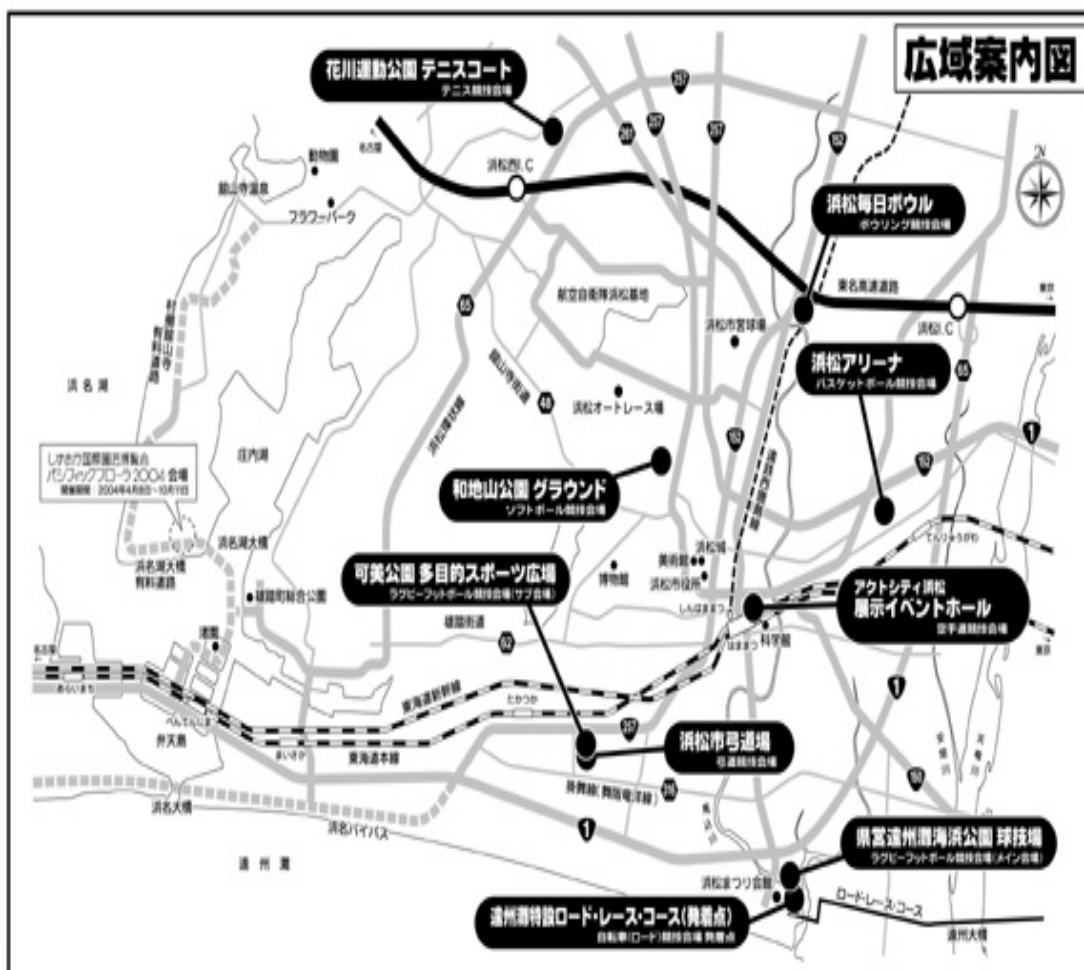
エコパのアンケートから見ても施設だけいくら良くしても周辺を含めた全体的印象が良くないとまたここに来たいという気持ちになれないのではないのでしょうか？

アクセス ↔ 宿泊施設 ↔ 周辺のイメージ ↔ 会場



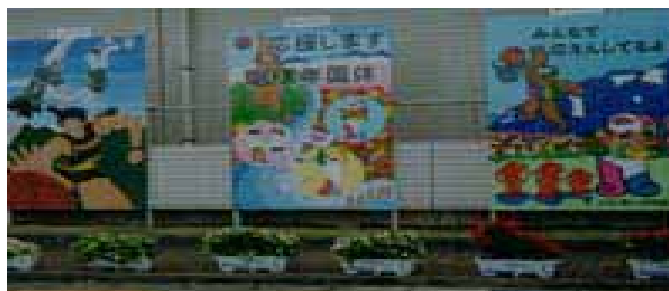
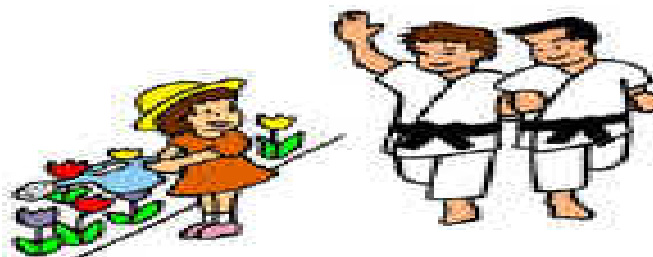
トイレ・水飲み場・コインランドリー・薬局・病院  
食事・コンビニエンスストア等の設備

〔 PS 先日のプレ国体（テニス都市対抗）では2人が熱中症で三方原へ運ばれました 〕



周辺の美化は(花や緑)人の心をなごませる。環境汚染防止のPRを兼ね刷紙を配布、選手や大会関係者、観戦者に協力してもらおう。

ゴミの片付けは行政でやるが最終的には税金でまかなっているのならゴミ有料制(1袋10円)の導入も必要。ゴミの処理にはお金がかかることを老若男女(理解)感じてもらおう事が大事(お金がかかるならなるべくゴミを出さないよう心掛けるのでは)



2万7千人の来県が見込まれる国体、浜松(地域)の特産物や名所を大いにPRして

又、浜松に 食べに行こう

を見に行こう

を聞きに行こう

“浜松って良い所だなー”という印象を皆に与えれば浜松の活性化にもつながるぞ

**心に残る 「 はままつ 」**

## 市民を観戦に

今までにスポーツに関心がなかった為見たこともないし興味のなかった競技でも近くで国内トップレベルの試合で情熱や感動をおぼえれば身近にこんな良い施設があるし自分もやってみよう、会社でサークルを作ろう、子供にやらせようと浜松の“やらまいか精神”が芽生えるぞ。（親子で観戦しよう……）



各スポーツに姉妹都市を作り（海外の都市とも）対抗戦を定期的に行う。

エキシビションマッチとしてプロ有名人を招待  
イベント化する。

スポーツだけでなくその後の 交流会

{ 海水浴  
花火大会  
マリンレジャー

トレーニング施設や宿泊施設を紹介し、合宿等の候補地に

**市民全員 スポーツにいそしもう**

国内トップレベルの試合

情熱 感動

親子で観戦

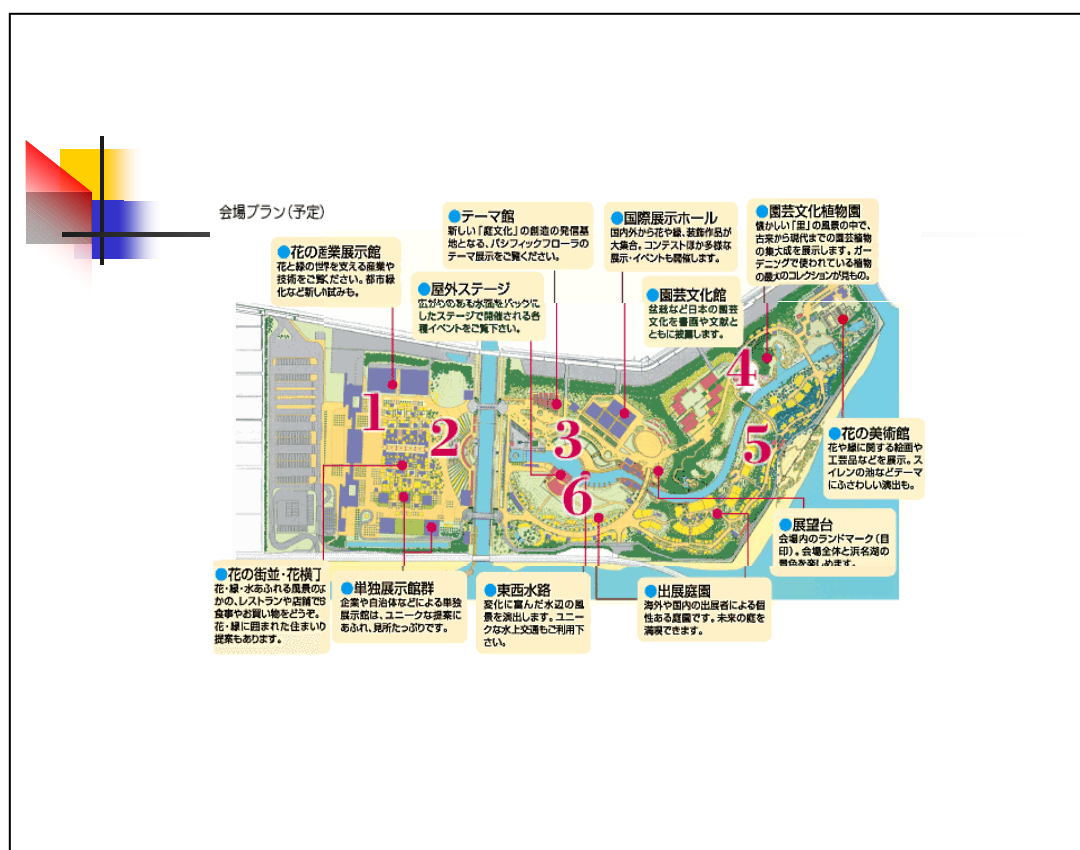
汗が情熱が人々の心に感動を呼ぶ！！

## 2、「園芸博の跡地」

- ・ 大規模イベント後、いちばん問題になるのは「土地施設の維持管理費」ではないでしょうか。

2004年に開催される浜名湖花博の会場になる浜名湖ガーデンパークも、例外ではありません。浜名湖ガーデンパークは、水路を挟み東エリアと西エリアに分かれています。県では、東エリアはそのまま都市公園として残し、西エリアは浜名湖花博の為に建設した「はこもの」は、全て取り壊し新たな利用を検討しています。

そこで、西エリアの跡地の利用について提言します。



ケータリングカーによる楽一・楽座

「ケータリングカー」とは、キッチンカー、移動販売車、移動厨房車、イベントカーの事をいいます。食品営業の許可も広範囲で取得できるよう設計されており、大規模イベントにフードサービスを提供する21世紀営業アイテムです。

そこで、ケータリングカーエリアを設け、自由に営業してもらいます。

営業するだけでなく、自分の店の商品のPRの場所としても利用できるのでは。





### 3、トイレはどこに？

イベント等に参加していちばん気になるのは「トイレ」の存在です。

人間の生理現象は「出物腫れ物ところかまわず。」と言われるように押さえることが極めて困難なものです。今回のエコパにおける W 杯では電車を利用しての観戦が大部分をしめていましたが、今後行われる大規模イベント開催時には周辺の渋滞が問題になります。一時期のみ一過性のもので済んでしまうことかもしれませんが、イベント終了後継続的な集客を見込む上では渋滞時のトイレの確保や施設内・施設付近でのトイレの場所が非常に気になります。また、集客施設内での時間による集中もあります。イベント期間中多くの来訪者に地域や施設そのものの印象にも大きな影響を与えるでしょう。

そこで、イベント開催場所周辺や集客施設周辺のトイレについての提言を致します。

#### イベント用簡易トイレの考え方

「とりあえず」で現場工事用の簡易トイレでは芸がなさすぎると思います。浜松では、浜松祭り（凧）・七夕祭り・浜松秋祭り・冬のイベント等、毎年いろいろなイベントが月に 1 回程度開催されています。その都度、業者依頼の簡易トイレでは経費がかかります。また、既設のトイレを増やすことも維持管理費用を考えると難しいでしょう。

そこで...

#### 公共施設のトイレ利用

いまさらと言われるかも知れませんが、各公共施設のトイレを利用できないでしょうか？公共施設の維持管理は常に行われており、土曜日・日曜日に利用するにあたっては外からトイレのみに出入りできるようにすることも出来るのではないのでしょうか？今後建設される公共施設にはこのような特徴を備え地域全体で来訪者を「おもてなし」することが必要です。しかし現在、浜松市内にどのくらいの公共施設がどこにあるのか？...

そこで...

#### トイレマップの作成

観光マップ・特産品マップ等、直接利益につながるマップはいくらでも費用をかけて製作されていると思います。しかし、直接利益につながらない「おもてなし」に対する地域マップは皆無です。トイレの利用できる公共施設がマップになって来訪者に提供できれば安心してこの地域で観光や散策が出来るでしょう。

#### まとめ

「直接利益につながらない」けれども来訪者が困っている情報を提供し、この地域の多くの住民が同じ認識を持つことによって、今後おこなわれる「大規模イベント」での来訪者の印象になりイベント終了後「もう一度、浜松へ！」の意識が出てくるきっかけになるでしょう。

、「浜松再生の足がかり」となるために

イベントがある度に、来訪者に地元周辺の各種情報を与えていく事

イベント施設には、「はこもの」の施設を立てずに再利用する

競技施設に関しては、定期的な試合実施を確保する

エキシビジョンマッチとしてプロ有名人を招待し、イベント化する

来訪者に不便を感じさせないよう「おもてなし」の情報提供の充実

以上の事を考え浜松市周辺地域の整備を推進していく事が、再生の足がかりになるでしょう。



平成 14 年度

# 提 言 書

浜松商工会議所 青年部

# 目 次

1	浜名湖ダイヤモンドクラスター都市	1
1.1	都市の目標	2
1.2	都市創造イメージ	3
2	浜名湖ダイヤモンドクラスター都市を創ろう	6
2.1	市町村合併の現状と今後の課題	7
2.1.1	「平成の大合併」の時期が到来した！	7
2.1.2	平成大合併の目的と社会背景	9
2.1.3	国・県による財政支援制度	10
2.1.4	合併・政令指定都市のメリットとデメリット	11
2.2	「浜名湖ダイヤモンドクラスター都市」を創ろう	12
2.2.1	4市6町の現状と課題	13
2.2.1.1	人口及び産業面	13
2.2.1.2	財政状況	16
2.2.1.3	他の政令市との比較	22
2.2.2	浜名湖ダイヤモンドクラスター都市の趣旨	26
2.2.3	五地域に分けた街づくり	27
2.2.3.1	アミューズメント地区	28
A	都市と自然	28
B	オープンスペース	29
C	レクリエーション	30
D	アミューズメント地域テーマ構想	32
E	アミューズメント地域設定	32
F	シティセールス・プロモーション	33
G	アミューズメント施設と地域景観	35
2.2.3.2	いやし系地区	36
A	自然散策と野外スポット	36
B	歴史探訪	36
C	歳時記	37
D	中高年向けを中心とした「いやし系街づくり」の提言	37
E	スローライフ地区	41
2.2.3.3	まちなか地区	43
A	浜松市中心市街地	43
B	「住」拠点としてのまちなかの魅力	45
C	「食」拠点としてのまちなかの魅力	46
D	食料品店を集結して巨大な食品市場の形成	50

2.2.3.4	産業先端地区	54
A	現状の環境把握	54
B	今後の方針	54
C	住環境の整備	59
D	今後の課題	61
2.2.3.5	スポーツ・コミュニティー地区	62
A	現状の環境把握	62
B	中田島砂丘の有効利用	62
C	「グリーン電力証書システム」とは	64
D	スポーツと環境学習の場づくり	65
3	五つの地域の競演で“あこがれ”の都市を	66
3.1	地域相互補完	67
3.2	五感で感じる街	68
3.3	浜名湖を中心とした地域の個性が競演	69
4	まちづくりを具体化するためのキーワード	70
4.1	世界都市	71
4.2	都市内分権と相互補完	71
4.3	物づくりの街からの発展	71
4.4	環境保全都市	72
4.5	政令指定都市構想研究会	72
4.6	合併協議会	72
4.7	住民説明会	73
4.8	地方交付税	73
4.9	合併特例債	74

# 浜名湖ダイヤモンドクラスター都市

～地域ごとの個性の競演で世界都市へ～



長期問題委員会

## 1.1 都市の目標

浜松もそうであるように、地域中心都市は長い発展の経過をもち、歴史的背景をもつ都市が多くあります。

このような場合、都市が急激な方向転換を行い、経過の断絶を招くことは望ましくありません。これまでの経過を十分に生かしながら計画をして行く事に重点をおくべきであります。

また戦後、急激な工業化が進んだ地域では公害問題などの対策だけに追われ、生産機能と生活機能の間に大きな不均衡が生じている場合があります。また過疎地域の中心になっている地方中心都市では区域外から産業を誘致する方向へ走りやすいが、農業や地元産業の育成に十分に意を用いていく事も重要であります。

都市として達成すべきゴールは国や都市により大きな相違がある訳ではありません。

都市の発展において目標とすべき点は

- 市民生活を優先する都市  
都市環境の安全性、保健性が確保され教育・文化・福祉についても一定の水準を保持し続ける都市
- 完全自治体である都市  
都市の環境整備と住民の教育・文化・福祉についてのすべての権限と財源を与えられた自治体としての都市
- 個性ある都市  
歴史的条件、地方的伝統を踏まえ、同時に独自の新しい文化を生み出す創造的発展を指向する都市
- 科学的な計画に基づき建設を進め社会的公平を貫く都市  
科学的な情報に基づいて住民参加のもとに計画を決定し、その実現にあたっては社会的公平の原則を貫く都市

- 地域環境を保全する役割を果たす都市  
自然環境の保全と良好な市街地形成の調和が図られ、また資源の節約とリサイクルに積極的に取り組む都市
- 広域圏における一定の役割を果たす都市  
国土、地方計画の中で一定の役割を積極的に果たす都市
- 安定成長を続ける適正規模の都市  
都市の規模は過大であってはならず、時間をかけて安定した成長を遂げる都市

## 1.2 都市創造イメージ

目標の中に「個性ある都市 = 歴史的条件、地方的伝統を踏まえ、同時に独自の新しい文化を生み出す創造的発展を指向する都市」と、あります。

例えば、世界の中心と言われるニューヨークは新しい文化を生み、創造的発展を続けている都市であります。

面積は東京都の 1.3 倍と思ったほど大きな街ではない中に世界中から多くの人達が集まって、あこがれの都市として発展して来ましたが、過去には人種差別などの悲劇的な問題もありました。

都市を別の名前と呼ばれるという事も魅力ある所でしょうか。ニューヨークはいつの間にか“ ビックアップル ” という響きの良い言葉で呼ばれるようになりました。しかし何故このように言われるようになったのか、英語学者も実に解答が出せなでいるようです。

また、この都市を創造する色としてシルバーという色がイメージされています。建築物、芸術の分野、またティファニーなどのシルバーも有名であります。

これにはこの都市の歴史、文化などが影響を与えているようです。

その昔、人種差別、奴隷問題など肌の色によって悲劇的な歴史があり、その時代から都市として発展していくなかで、シルバーという色がイメージされて来た、という話を聞きました。

シルバーという色は自身の色を持っていません。周りの色を映り込ませる事により、あらゆる色を輝き出す色。白、黒、黄、その他どんな色が周りに置かれた時でもそのあらゆる色を映り込ませ、一つの輝く色を創り出せる事ができる色、それがシルバーなのです。

都市の発展の歴史からイメージされた色であり、それが国際社会の中であらゆる国から人々が集まり、経済・文化の中心に、また新しい文化を生み出す創造的発展を遂げたことにも何らかの影響があったのかもしれない。

その街、都市、地域への“あこがれ”には五感で感じるもの以外に何か必ずあります。その何かは、見る・聞く・嗅ぐ・触れる・味わうなど言葉に出せるものも当然ありますが、それらが競演しながら生み出す物、それが“あこがれ”となってくるのではないかと思います。



浜名湖を中心とする県西部地域でも伝統・文化・歴史など経過を十分に生かしながら広域圏における正しい役割を果たす地域（クラスター）をちりばめ、その地域どおしが相互に補完しあう多中心の都市圏を創り出します。

その地域（クラスター）ひとつひとつがダイヤモンドの原石であり、地域どおしの“磨き合い”で都市圏が各地域の交流でひとつの“輝き”、各地域の競演で“あこがれ”を創造できる都市を考えます。



# 浜名湖ダイヤモンドクラスター都市 を創ろう



## 2.1 市町村合併の現状と今後の展望

### 2.1.1 「平成の大合併」の時期が到来した！

明治 21 年末に全国で 71,314 あった町村数が「明治の大合併」と「昭和の大合併」を経て、現在約 20 分の 1 の 3,224 市町村にまで減少しています。

地方分権一括法の施行から約 2 年経過した平成 14 年 4 月現在、全国の 2,226 市町村で合併の検討がなされているといわれています。これは、全国の市町村の約 70%に当たります。まさに「平成の大合併」の時期が到来していると言えるでしょう。最近では、平成 13 年 5 月に、浦和市・大宮市・与野市が合併し、さいたま市ができました。平成 15 年 4 月には、静岡市と清水市が合併することも決定しています。



静岡県では現在 18 件ほどの合併構想が持ち上がっています。

	関係市町村	組織名
1	静岡・清水市	平成 15 年 4 月に合併予定
2	東伊豆・河津・南伊豆・松崎・西伊豆町・賀茂村	賀茂地区議会広域行政研究会
3	修善寺・天城湯ヶ島・中伊豆町	田方郡南部 3 町議員合併推進連絡会 田方南部合併研究会
4	沼津・三島・裾野市・函南・清水・長泉・韮山・伊豆長岡町	東部広域都市づくり研究会
5	沼津市・清水町	沼津市清水町中核市推進協議会
6	富士・富士宮市・芝川町	富士地区広域行政調査研究部会
7	富士川・蒲原・由比町	庵原 3 町合併問題等調査会
8	焼津・藤枝市・岡部・大井川町	志太 2 市 2 町任意合併協議会準備会
9	島田市・金谷・川根・中川根・本川根町	島田市榛北 4 町議会議員広域問題研究会
10	御前崎・相良・榛原・吉田町	榛南地区広域行政推進協議会 榛南 4 町議会広域行政推進協議会
11	大須賀・浜岡・小笠・菊川・大東・御前崎・相良町	東遠 7 町広域行政研究協議会
12	掛川・袋井・磐田市・大須賀・浜岡・小笠・菊川・大東・森・春野・浅羽・福田・竜洋・豊田・御前崎・相良町・豊岡村	分権・行改・広域調査会
13	掛川市・大須賀・浜岡・小笠・菊川・大東町	小笠掛川振興協議会合併調査部会
14	掛川市・大須賀・大東町	1 市 2 町合併調査研究本部
15	浜岡・小笠・菊川町	小笠・浜岡・菊川町 3 町合併調査研究会
16	磐田市・福田・竜洋・豊田町・豊岡村	磐南合併推進本部
17	袋井市・森町・浅羽町	袋井市・森町・浅羽町合併研究会
18	佐久間・水窪町	佐久間町・水窪町合併調査研究会

## 2.1.2 平成大合併の目的と社会背景

### - 合併特例法と国・県の支援 -

それでは、なぜ全国の多くの市町村で合併構想が持ち上がっているのでしょうか？それは、次のような理由が挙げられるでしょう。

- 国際的な都市間競争の激化  
経済のグローバル化と地域保護政策の後退によって、地方都市も「生き残り」をかけた国際的な競争にさらされている
- 行政の効率化・スリム化の要請  
厳しい財政状況、少子・高齢化社会への対応、地方分権推進等から計画的、安定的な行政運営が迫られている
- 地方制度改革の推進  
市町村合併を行うことで、府県合併から道州制度へと移行する

さらに、現時点で市町村合併が推進されている背景には、「市町村の合併の特例に関する法律」いわゆる「合併特例法」の期限が迫っていることも要因のひとつです。

### 【合併特例法のあらまし】

- 市町村合併の広域化に対処し、自主的な合併を推進するとともに、合併後の地域づくりを支援することを目的
- 現行法の有効期限は、平成 17 年 3 月 31 日
- 主な特例措置 住民発議制度・合併協議会と地域審議会・市町村建設計画・議会議員の定数、在任特例・地方交付税の算定特例（合併算定替え）・合併特例債・過疎債の特例・都道府県議会議員の選挙区の特例など

### 2.1.3 国・県による財政支援制度

国と県は、自主的な合併を推進するため、次のような財政支援策を設けています。

支援制度	内 容
補助金	合併準備補助金・合併市町村補助金
交付金	静岡県市町村合併特別交付金
資金貸し付け	静岡県市町村振興資金
普通地方交付税	地方交付税の算定特例(合併算定)・合併直後の臨時的経費に対する財政支援(合併補正)
特別地方交付税	合併移行経費に対する財政措置・合併準備経費に対する財政措置・市町村合併に対する特別交付税措置
地方債の特例	合併市町村まちづくりのための建設事業に対する合併特例債・合併市町村振興のための基金造成に対する合併特例債・地域総合整備事業債・過疎債



## 2.1.4 合併・政令指定都市のメリットとデメリット

政令指定都市になるために合併した場合の一般的にいわれているメリットとデメリットには、次のようなものがあります。

### 【メリット】

- 行政サービスの高度化、多様化、スピード化
- 広域的観点からの街づくり、重点的な投資による基盤整備
- きめ細かな市民サービスの提供
- 行財政の効率化の促進
- 財政的に豊かな街づくりが可能
- 地域のイメージアップ、知名度の増大

### 【デメリット】

- 役場が遠くなって不便にならないか？
- 中心部だけが発展して周辺部がさびれてしまうのでは？
- 各地域の歴史、文化、伝統が失われてしまわないか？
- 住民の声が届きにくくなるのでは？
- サービス水準が低下してしまうのでは？
- 財政状態が良い市町村には、不利なのでは？

しかし、これらのデメリットは、行政サービスの仕組みを工夫することで、解消できると言われています。

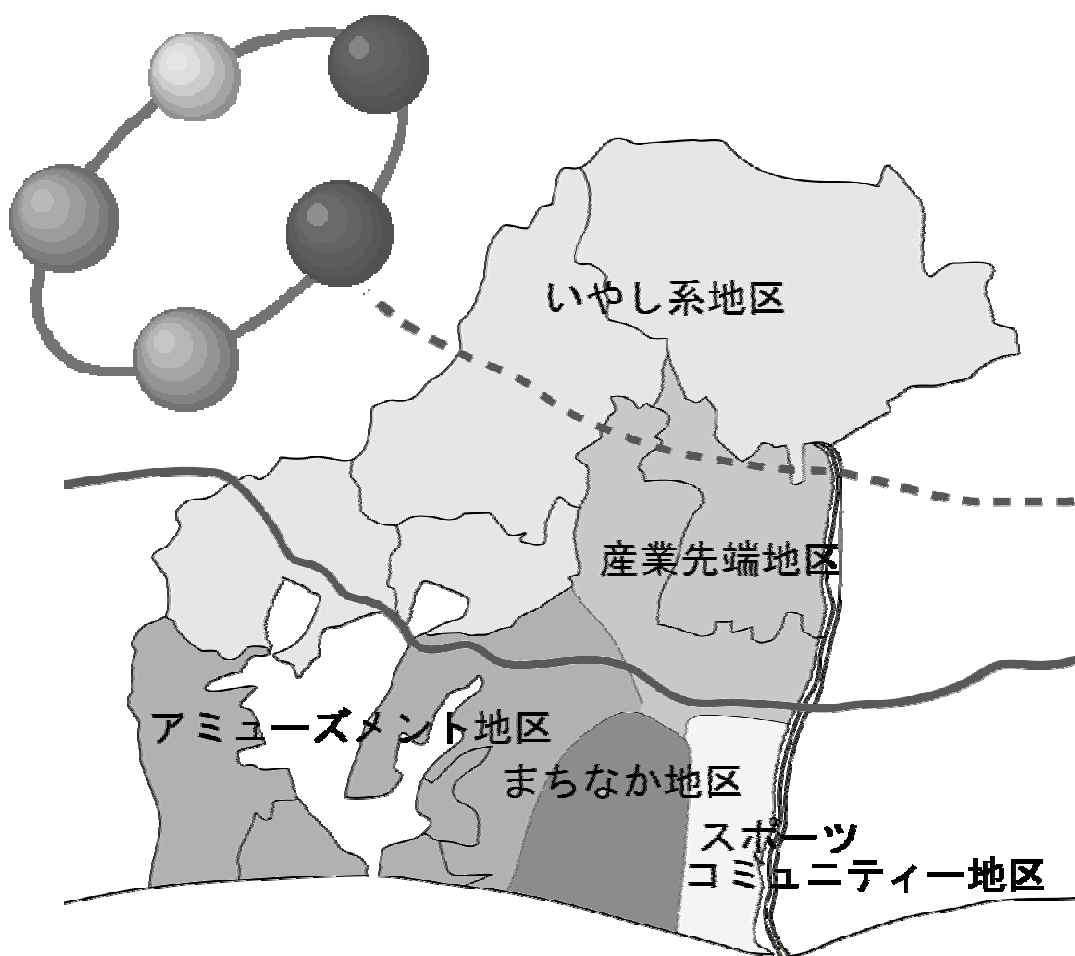
## 2.2 「浜名湖ダイヤモンドクラスター都市」を創ろう！

### 分権と相互補完の都市

浜名湖ダイヤモンドクラスター都市ってどんな街？

それは、

- 浜名湖を中心にダイヤモンドのように五つの魅力的な地域がクラスター（ぶどうの房）のように取り囲む街
- 浜名湖という「指輪」の周りを、五つのダイヤモンドが煌めく街
- 自然と都市機能が調和する世界で初めての街



## 2.2.1 4市6町の現状と課題

### 2.2.1.1 人口と産業面

人口面の数字は浜松市が群を抜いているので、合計も浜松市の特徴がそのまま表れています。ここでは次頁以降の表に載っていない数字で4市6町の状況と課題を探ってみたいと思います。

まず人口面ですが、市町村別の人口伸び率をみると、昭和55年から平成12年では、細江町の27%が最も伸びています。三ヶ日町と天竜市がマイナスとなっていますが、全体としては順調に一定の割合で人口が増えているようです。ただ外国人の伸びが高いと思われます。年齢階層別人口比率では例外なく年少人口が減って、老年人口が増えておりこの地域でも少子・高齢化は進んでいます。特に天竜市や引佐町、三ヶ日町の郡部で高齢化が深刻となっています。

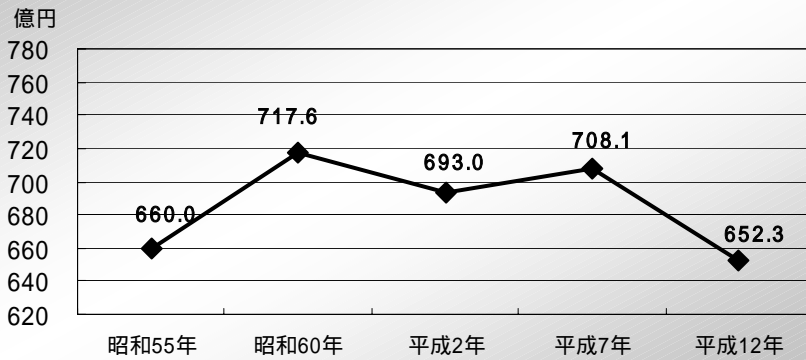
産業別人口比率は、湖西市の第二次産業比率や三ヶ日町の第一次産業比率が群を抜いて高くなっており、その町の産業が色濃く表されています。しかし全体としては第一次産業が減り第三次産業が増える傾向が続いており、この産業別人口の比率の特徴がそのまま農業粗生産額、製造品出荷額、卸・小売業の販売額に反映されていますが、推移のグラフを見ると景気の影響で卸・小売業の販売額が落ち込んでいる割には製造品出荷額は健闘しており、この地域の産業がいかに安定しているのかが表れています。

ただ今後もこの傾向が続くとは限らないので、今いちど農業や第三次産業の育成が必要であろうと思われます。

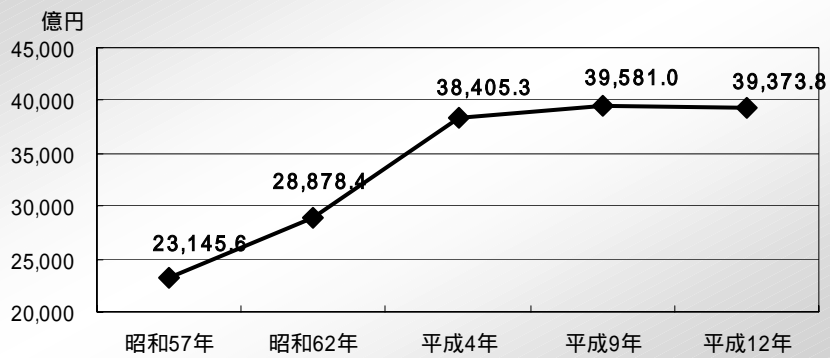




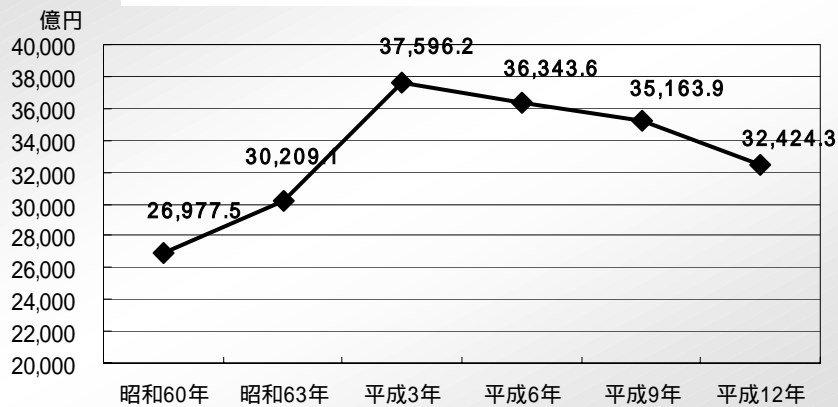
### 4市6町の農業粗生産額の推移



### 4市6町の製造品出荷額の推移



### 4市6町の卸、小売業年間販売額の推移



「国勢調査報告」(総務省統計局)

「静岡県農林水産統計年報農林編」(関東農政局静岡統計情報事務所)

「工業統計調査報告書」(静岡県統計課)

「商業統計調査報告書」(静岡県統計課)

### 2.2.1.2 財政状況

4市6町の合計の一般会計決算額をみると、全体の6割強を浜松市が占めています。

その浜松市はこれまで大規模事業が続いたためか、積立金に対しての地方債の残高が膨らんでいます。浜北市は一般会計の占める地方税の割合が低く、市としては地方交付税に頼っているところがありますが、経常収支比率の低さに見られる様に効率的な行政運営がなされています。湖西市は大企業の工場が多く誘致された効果から人口に対する地方税の割合が高く、地方交付税もほぼ不交付となっていますが、しかし平成5年以降の地方債の割合が増えているのが気になるところであります。天竜市は過疎化と地場産業の衰弱化が進んでいるので、地方交付税に頼らなければ成り立たなくなっているように思われます。その上地方債の残高も増えおり今後、財政的に厳しい状況が予想されます。

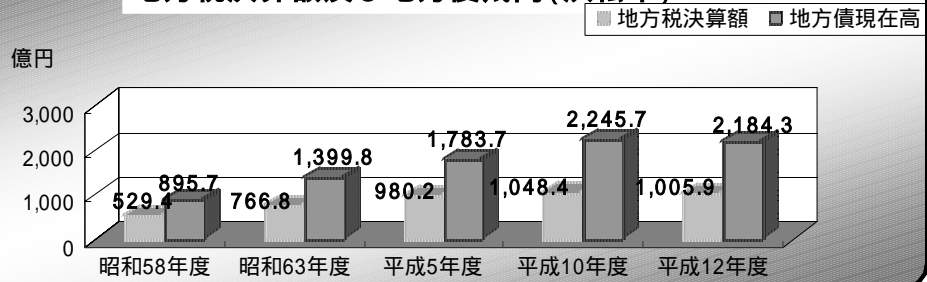
6町の中では新居町が最も財政的に安定しています。その他の町では細江町と三ヶ日町が産業がしっかりしているためか比較的堅実であると言えるでしょう。しかし、残りの3町は人口的にも少なく、またこれといった産業がないことから、かなり苦しい運営がなされているように思われます。

全体としては平成5年度以降、地方税の決算額は伸び悩んでいるのに、一方で地方債の残高が急激に増えています。これは国の景気対策に歩調をあわせて事業を展開してきたからでしょうが、どこまでこの借金を国が面倒みてくれるのかが保障されず、不安な面です。

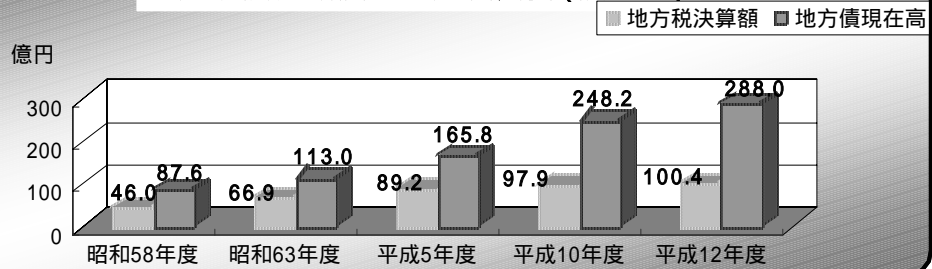




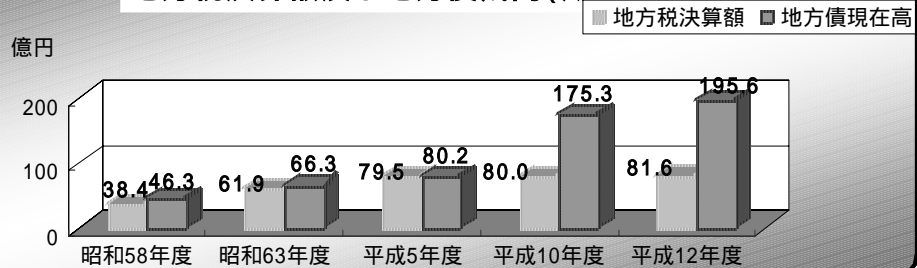
### 地方税決算額及び地方債残高(浜松市)



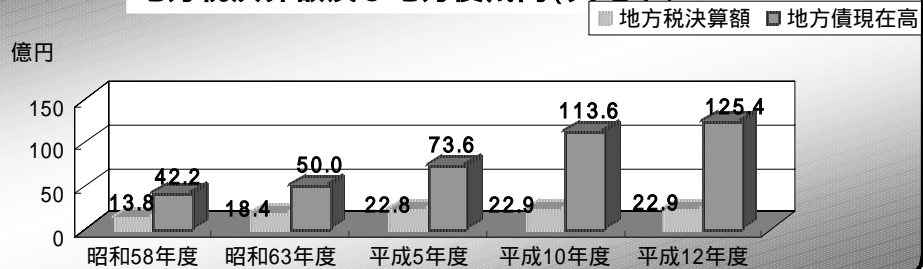
### 地方税決算額及び地方債残高(浜北市)



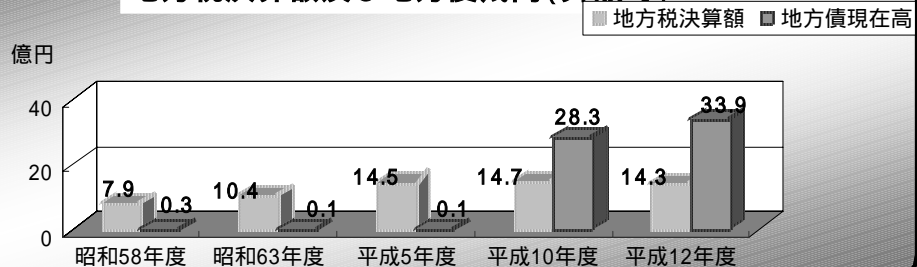
### 地方税決算額及び地方債残高(湖西市)



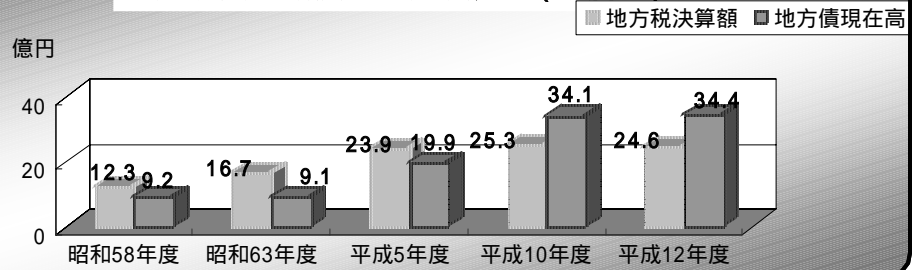
### 地方税決算額及び地方債残高(天竜市)



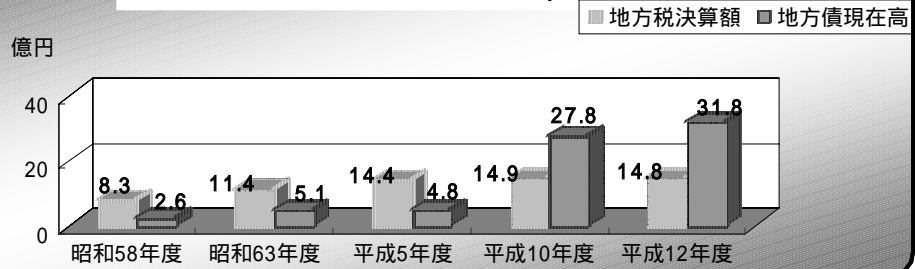
### 地方税決算額及び地方債残高(舞阪町)



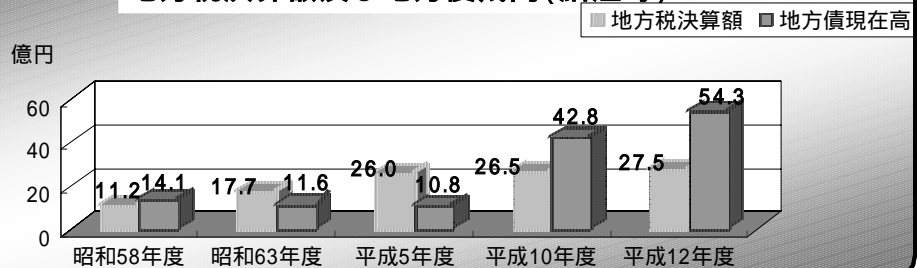
### 地方税決算額及び地方債残高(新居町)



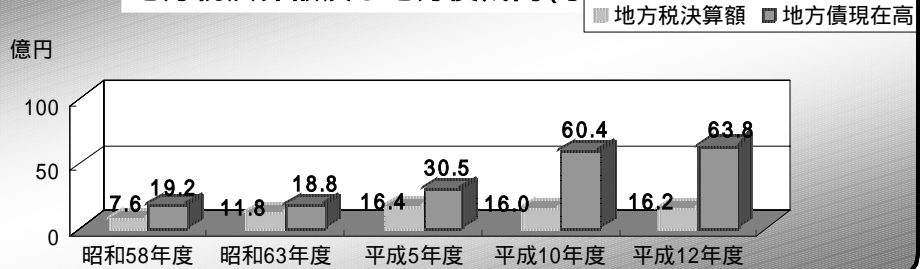
### 地方税決算額及び地方債残高(雄踏町)



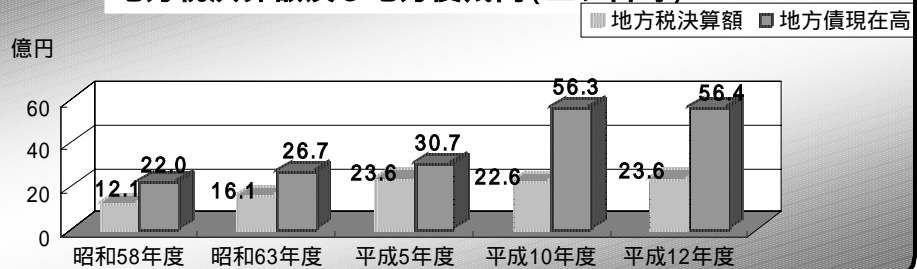
### 地方税決算額及び地方債残高(細江町)

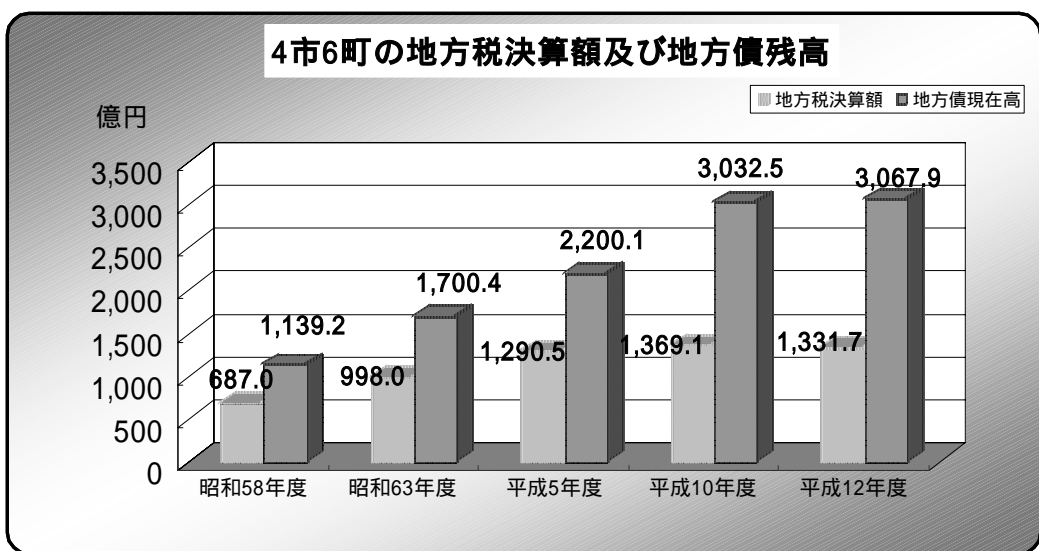
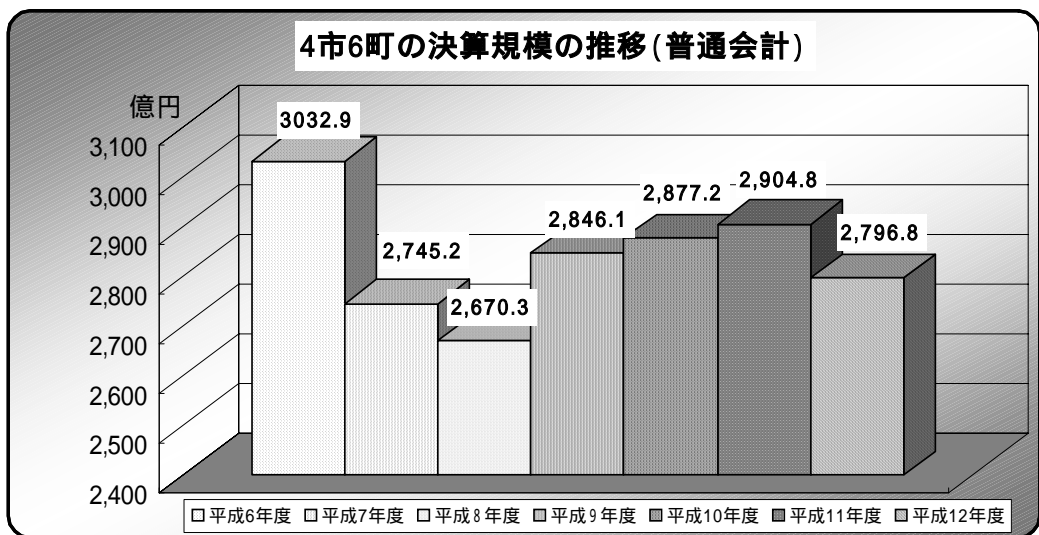


### 地方税決算額及び地方債残高(引佐町)



### 地方税決算額及び地方債残高(三ヶ日町)





環浜名湖政令指定都市研究会及び  
静岡県市町村財政室「市町村財政の状況」より抜粋

- 財政力指数**

平成10年度から平成12年度の3カ年平均。  
基準財政収入額を基準財政需要額で除した値で、通常、1以上の団体は財政力が強い団体といえることになる。
- 経常収支比率**

経常一般財源が人件費、扶助費、公債費等の経常的経費に充当されている割合。普通 70-80%に分布するのが標準的とされている。
- 公債費負担比率**

一般財源総額のうち地方債の元利償還に充てられた一般財源の割合。

### 2.2.1.3 他の政令市との比較

環浜名湖の面積の数字は、浜名湖を含んだものですが、政令指定都市の中でも札幌市に次ぐ広さとなっています。街の真ん中にこれだけ広い湖を持つ市はなく、その意味では特徴的な政令市になるであろうと思われます。

年齢階層別比率では、他都市より 15 歳以下と 65 歳以上の割合が高くなって少子化は幾分抑えられているようです。高齢化率は山間部で高い数字となっており、環浜名湖全体的にも数字を押し上げていますが、3 世代のバランスは良いでしょう。産業別人口比率は、他の政令市に比べると明らかに第一次産業と第二次産業の比率の高さが目立ちます。これは取りも直さず農業粗生産高と製造品出荷額の高さに結びついています。

全国市町村の比較でみると、製造品出荷額の 1 位はトヨタ自動車の本拠地豊田市ですが、環浜名湖では川崎市に次ぐ 6 番目の数字となります。因みに浜松市は堺市に次ぐ 12 位です。また農業粗生産額は浜松市は 3 位ですが、環浜名湖だと豊橋市を上回り全国 1 位です。やはり数字の上でも工業と農業が強く、第三次産業が弱い結果となっています。この特徴を生かしていけば、いままでの政令市とは違った面が出てくるでしょう。地産地消などこれからの地域づくりに欠かせない要素を最初から持っているように思われます。



ただ、納税者 1 人あたりの課税対象所得額が浜松市でさえも全国で 219 位となっており、所得の低さがそのまま歳出額の低さになっています。今後いかに生産性を高めていくかが課題となるであろうと思われます。



## 【参考資料】：環浜名湖4市ランキング

(99年度決算をベースに算出、全国671市中)

### 全国から見た環浜名湖4市の財政健全度ランキング

財政健全度	都市名	借金体質	財政力	財政基盤	弾力性 自主性
1位	愛知県豊田市	26位	1位	38位	1位
2位	愛知県日進市	6位	18位	1位	5位
3位	福井県敦賀市	10位	2位	97位	3位
4位	愛知県刈谷市	7位	7位	52位	2位
5位	東京都武蔵野市	9位	4位	10位	100位
85位	浜松市	415位	78位	81位	59位
146位	湖西市	575位	44位	314位	25位
173位	浜北市	351位	251位	205位	60位
521位	天竜市	395位	623位	567位	263位

地方交付税をベースとした地方財政の枠組みは変革期を迎えようとしており、将来的には国に依存しなくても生き残れる体質作りが要求される。そこで、現状の財政がどの程度健全であるかを、各市の決算の状況と各種の経済・社会指標をもとに算出した。決算状況からは、借金体質（地方債依存度など）、弾力性・自主性（経常収支・自主財源比率など）、財政力（人口当たりの地方税収額など）の3つの指標を算出。あわせて経済・社会指標から、財政基準（個人所得や経済活動の水準など）を指標化し、これをもとにランキングしたものである。

### 全国から見た環浜名湖4市の住みよさランキング

住みよさ	都市名	安心度	快適度	住環境 充実度	富裕度	利便度
1位	福井県福井市	53位	301位	351位	126位	4位
2位	千葉県成田市	127位	88位	494位	30位	12位
3位	富山県砺波市	108位	158位	5位	405位	67位
4位	滋賀県栗東市	116位	20位	425位	25位	185位
5位	秋田県大曲市	203位	199位	63位	418位	2位
149位	浜松市	308位	175位	503位	120位	191位
433位	浜北市	378位	468位	188位	259位	502位
594位	湖西市	614位	656位	323位	234位	432位
605位	天竜市	546位	630位	94位	568位	469位

安心度（医療・老人福祉など）、利便度（買い物環境・通勤時間など）、快適度（社会基盤整備など）、富裕度（個人所得など）、住環境充実度（住宅面積・持ち家比率など）の5つの視点から、都市の住みよさを指標化しランキングしたものである。

全国から見た浜松市の各種ランキング（全国 673 市中）

面 積		
116 位 茨城県つくば市	117 位 浜松市	118 位 佐賀県伊万里市
人 口		
18 位 神奈川県相模原市	19 位 浜松市	20 位 千葉県船橋市
地方財政歳出額		
22 位 鹿児島県鹿児島市	23 位 浜松市	24 位 静岡県静岡市
農業粗生産額		
2 位 宮城県都城市	3 位 浜松市	4 位 熊本県熊本市
製造品出荷額等		
11 位 大阪府堺市	12 位 浜松市	13 位 福岡県北九州市
小売販売額		
16 位 熊本県熊本市	17 位 浜松市	18 位 大阪府堺市
課税対象所得額（納税者一人当たり）		
218 位 静岡県掛川市 359.6 万円	219 位 浜松市 359.4 万円	220 位 福岡県上福岡市 359.3 万円
乗用車保有台数（100 世帯当り）		
153 位 静岡県島田市 114.6 台	154 位 浜松市 114.6 台	155 位 長野県飯田市 114.4 台

東洋経済新報社刊 都市データパック 2002 年版より抜粋

## 2.2.2 浜名湖ダイヤモンドクラスター都市の趣旨

浜名湖を中心とする静岡県西部地区は、素晴らしい自然環境に恵まれています。浜名湖・佐鳴湖の水資源、天竜川を代表とするたくさんの川、北部の豊かな森林、中田島の砂丘などの南部の海岸線…。特に浜名湖は新居・舞阪の太平洋に面した南部から、三ヶ日・細江の奥浜名湖までさまざまな顔を見せてくれます。

このような自然環境によって、この地域はさまざまな特色ある農産物を算出し、農業生産高も日本有数です。

一方、西部地区は、「ものづくりの街」として発展してきた歴史があります。年間の工業出荷高は、約 400 億円にも達し、京都市、神戸市、福岡市、広島市、北九州市、仙台市、さいたま市、静岡・清水新都市といった他の政令指定都市をはるかに上回っています。



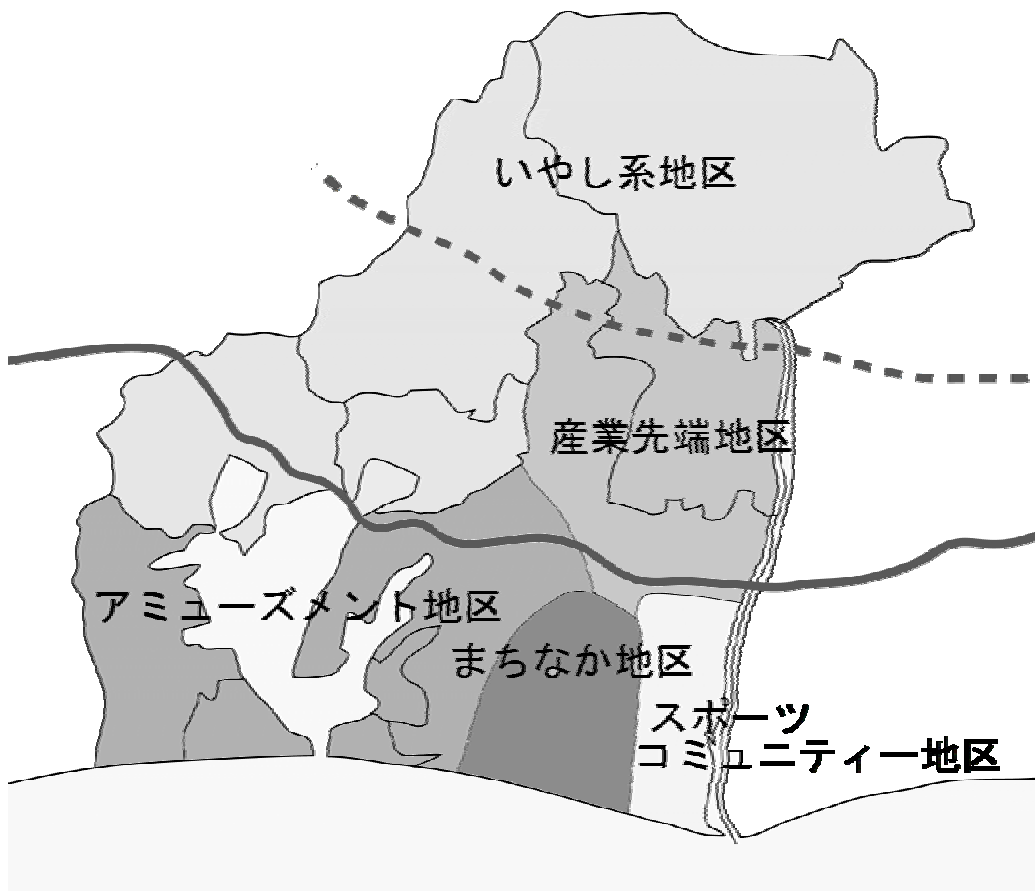
このような豊かな自然と工業力を兼ね備えた地域は、日本で、いや世界でもまれにみる好条件と言っても過言ではないでしょう！

そこで、わたしたちは、この好条件を活用すべく、「浜名湖ダイヤモンドクラスター都市」を創ることを提言します。

豊かな自然と都市機能が調和した、世界史上初めてのの素晴らしい街を創ろうではありませんか！

### 2.2.3 五地区に分けた街づくり

- ◇ **アミューズメント地区**（浜名区 人口約 15 万人）  
（浜松市西部・雄踏町・舞阪町・新居町・湖西市）
- ◇ **いやし系地区**（緑区 人口約 8 万人）  
（天竜市・引佐町・細江町・三ヶ日町）
- ◇ **まちなか地区**（浜松駅前区 人口約 25 万人）  
（浜松市中心部）
- ◇ **産業先端地区**（北区 人口約 20 万人）  
（浜松市北部・浜北市）
- ◇ **スポーツ・コミュニティー地区**（南区 人口約 15 万人）  
（浜松市の東南部・東名高速より南部）



### 2.2.3.1 アミューズメント地区

#### A 都市と自然

人間は本来、生物であるから自然の恩恵なくして生きていくことはできません。また、人間の歴史は過酷な自然との戦いの歴史でもありました。人間の知恵が自然を克服し、人工的な構造物によって都市を構築するようになった現代においても自然との関係は断たれたわけではありません。光、温度、空気、水、土地などを科学技術を駆使することによって人工的に作り出すことは可能ですが、それが適用されるのは都市のごく一部にすぎないし、人工的環境が多くなればなるほど人間の心はより原生的の自然を求める傾向にあります。したがって都市に自然環境の存在することはきわめて重要であり鉄とガラスとコンクリートの味

気ない都市環境に緑のオープンスペースは都市計画の重要な課題の一つであります。



## B オープンスペース

オープンスペースは都市の生活者にとって多くの重要な役割を果たしているがこれを整理すると

- 市街地の拡大防止……………オープンスペース自体の機能ではないが市街地化を阻止する手段としてグリーンベルトの指定などが行われる。
- 保護機能……………自然文化財の保護、日照、通風の確保、騒音など公害を防止し火災の延焼を防ぎ、爆発事故などに対する緩衝、プライバシーの侵害防止など環境を保護する機能を有し、災害時には一時的な避難地となる。
- 生産機能……………森林からは木材などの林産物、農地からは農産物を産する。この意味で森林や農地は生産緑地と呼ばれることがあります。
- レクリエーション機能……………公園、運動場などによって代表されるレクリエーションの場としての機能。
- 修景機能……………自然公園のようにオープンスペース自体が景観要素である場合と庭や園地のように建築物との相互関係において一体的景観をつくりだす場合がある。



参考：オープンスペースの分類

土地	建ぺい地				
	非建ぺい地	交通用地	道路用地		
			航路、荷揚場用地		
			鉄道、軌道用地		
			飛行場用地		
		オープンスペース	公共オープンスペース	公園緑地、運動場、公園道路	
				広場	
				墓地公園	
			自然オープンスペース	河川、湖沼、水路	
				海浜、河岸、湖畔	
				山林、原野、農地	
			公開オープンスペース	社寺境内、墓地	
				公益施設付属園地	
				民営施設付属園地	
			共用オープンスペース	共同住宅園地	
				メンバー制レクリエーション施設	
				企業厚生施設園地	
				学校運動場その他園地	
			専用オープンスペース	個人園地	
試験場					
給排水その他処理施設					

### C レクリエーション

レクリエーションは人々によって若干定義が異なるがここでは余暇時間における休養、保養、娯楽、気晴らしなどの余暇活動を総称し、スポーツ、文化など各種のものが含まれる。いずれも目的が専門的ではなくあくまでも精神的、肉体的な人間の生理的なバランスを維持する為の行動です。年齢、性別その他個人的な諸条件によって多くの行動の種類があります。

レクリエーション施設に対する需要は余暇時間の増大に伴って近年ますます多岐にわたり行動圏も拡大しつつあります。したがってそれらの動向を将来にわたって予測しスペースと施設を充実することによって健全なレクリエーションの発達を進めて行く必要があります。

このような施設は民間で企業的に成り立つものもあるが、公共団体が自ら整備しなければならないものも少なくない。また、非営利団体などを助成して促進を図ることも必要であります。

参考：レジャーおよびレクリエーション活動の種類

種 別		例
一般の創作活動		小説、詩、俳句、写真、日曜大工など
女性型の創作活動		あみもの、ししゅう、洋裁、和裁など
学習活動		読書、研究、調べ物など
鑑賞		スポーツ観戦、音楽会、映画、演劇、美術館など
ゲーム		囲碁、将棋、麻雀、トランプ、パチンコ
ギャンブル		競馬、競輪、オートレース、競艇
旅行		日帰り旅行（潮干狩り、遊園地、ピクニック） 宿泊国内旅行、海外旅行
スポーツ	社交型	ゴルフ、乗馬、テニス、ボーリング
	趣味型	体操、サイクリング、アイススケート
	個人競技型	柔道、ボクシング、陸上競技
	団体競技型	野球、サッカー、ラグビー
	山岳型	狩猟、キャンプ、登山、スキー
	海洋型	海水浴、モーターボート、ヨット
	空域性	グライダー、スカイダイビング、飛行機
動植物の飼育		金魚、小鳥、家畜、庭いじり、盆栽
つき合い		ホームパーティ、会食、談論
家でブラブラする		テレビ、ラジオ、レコード、ごろ寝
気晴らしの外出		散歩、食事、ウインドショッピング
コレクション		切手、古銭など

## D アミューズメント地域テーマ構想

近年は集約的な観光レクリエーション基地を開発して、そこから自然や史跡を訪れるルートを置くという構想で進んでいました。またこの発想は、急成長しているレクリエーション需要に対して戸外利用空間の供給開発をいかに行うべきかというもので基地、ルート、拠点、目的環境の配置と言う機能主義でありました。実際に現地においてみるとドライブウェイやレジャーセンターの開発によって自然環境や景観が破壊され、ごみや排水で汚染されていることが多くあります。

最近是需要サイドから開発を論じるのではなくむしろレジャー来訪客を受け入れるサイドから計画を考えようとするスタンスに変更されてきています。その地域の住民、農民、あるいは漁民、また都市民の生活を研究した上で環境緑地と空間利用などを類型化して生態保全のバランスを考えて整備する必要性はいうまでもありません。

アミューズメント地域それは、遊びの文化を提供できる場であり、「非日常空間」として気分転換できる消費者の生活に密着した余暇を過ごせる場所をつくり出す必要があります。また、若者文化主体でなく子供、女性、高齢者やハンディのある方の側に立った整備も必要であります。

## E アミューズメント地域設定

- 浜名湖周辺の観光資源を連携させる交流拠点としたい
- 浜名湖への市民の関心を集め水質浄化などの環境改善をはかる
- ハード、ソフト両面で浜名湖周辺の観光資源の活性化
- 水への親しみレイクサイドウォークや、水上交通整備
- 都市の魅力を高め、外国人ビジターを含めた人口の増加を促進
- イベント、展示場、国際会議等々多岐にわたる開催で経済波及効果だけでなく交流と言う側面での社会的、文化的波及効果も活力を生み出す源泉となる

## F シティセールス、プロモーション

浜松周辺からは世界に冠たる企業が多くあります。ヤマハ、スズキ、ホンダに代表されるオートバイ、車メーカーは、浜松育ちの世界ナンバーワン企業であります。しかし、それがイコール浜松になっていないように思います。アメリカのハーレーダビットソンは、そこに住んでいる人々が誇りに思っているようではありますがこの地域はそこまではないようでもあります。このような世界企業が揃っている地域でありながらそれを活かして付加価値をつける演出やPR、トータルイメージづくりに対してもっと積極的に展開する必要があるのではないかと思います。

- サーキット場

各地にすでに多くのサーキット場がありますが、集客数の面ではある一部のイベントを除いてはあまり良い状況ではないように思われます。この地域に大きなサーキットをつくろうというものではなく、子供や女性、また関心のない一般の人々にも「見て、触れて、実際に体験する」遊びの文化を提供できる施設を整備する必要があると思います。オートバイやレーシングカートなども最近では、低年齢層への対応が進み小学校のグラウンドを利用してのオートバイ教室や、民間企業によるレーシングカート教室なども行われるようになりました。

- サーキット場を中心とした施設

場内にはミーティング広場や、それを囲む店舗にはオートバイ、車他の商業施設、古い車を蘇らせるレストアショップ、自分だけの一台をつくりだすカスタムショップなど関連の施設を出店します。ここでは昔ながらの手づくり技術と最新の加工技術を合わせた技術職人の集まりの専門店街をつくることを目的として大クラフトパークをつくりだします。

- イベントの開催 日本を中心に東から西から集まれ

日本を中心に位置する地域浜名湖へと、ドライバーズミーティングや展示会、新車発表会などの開催地としての集客面でも提

案していく必要があります。また、ここを拠点として周辺のオートバイや車メーカー他の企業視察観光なども行うこともできます。周辺には宿泊施設も充分にあります。経済的な合宿ができるような施設も整備します。最新の自然と共生することの出来るこれからの車をPRしていくことも重要になってまいります。

- レイクサイドウォーク・水上交通・マリンスポーツ

水上から眺める風景、水辺の散策から、水と遊ぶいろいろなスポーツなどから自然に環境の大切さを知ることが出来ます。現在も花火、潮干狩り、観光漁業、ヨットやボート、あらゆるマリンスポーツを楽しんでいます。あまり見る事の出来ないパワーボートのエキジビションなども行われています。これらのイベントをコラボレートすることにより、もっと多くの人達に参加し楽しむことが出来るよう考えて行く必要があります。街中での歩行者天国や、活性化事業などのイベント、レイクサイドウォークラリーなどを水上で繰り広げられるイベントと一緒に開催することにより水上での競技者も多くの観衆の前で盛り上がり、また競技やそのスポーツそのものにも興味が集まり競技人口の増大につながります。観衆も新たな発見をする可能性があります。

- 野外コンサート・環境会議・映画ロケ誘致など

日本のまん中に位置する交通網の発達した地域、コンサートや会議など施設も充実しています。このような総合的な地域イメージの創造が映画ロケなどの誘致などへと広がってきます。三ヶ日駅のCM撮影なども有名です。これらのイベントを進めて行くには、公共団体が自ら整備しなければならないものも少なくありませんが、非営利団体などを助成して促進をしていくことが重要です。また地域の住民の協力と理解、地域ごとの規制緩和などの必要性もいうまでもありません。シティセールス、プロモーションは、地域そのもの、その地域住民の生活も含めて、また地域産業の売り込みなど高付加価値をつける演出やP

R、トータルイメージづくりを積極的に展開しなければなりません。

## G アミューズメント施設と地域景観

浜名湖周辺の自然の中の一部地域をアミューズメント施設と考えたとき園地とその周りの自然のように建築物との相互関係において一体的景観をつくりだすよう計画することが必要です。また自然文化財の保護、日照、通風の確保、騒音など公害を防止することはきわめて重要なことであります。国土のスケールで見ると我が国の総面積のうち 67.5%が森林、原野、14.1%が農用地であって道路、宅地の占める割合はわずか 7.3%にすぎません。農林業による原生自然の破壊を別とすれば、工業排水による河川や海域の汚染、観光道路やダム建設などによる自然破壊のほうが市街化による破壊よりもはるかに大きいです。乱開発による無秩序な市街化は都市周辺のすぐれた自然を破壊し続け、歴史的な文化財も危機的な状況にあります。自然文化財や歴史的建造物、古い町並みなどそれ自体を保全するだけでなく、それを公園や緑地に取り込むことによって文化財の環境についても保全する必要があります。

自然や文化財の保全は、その地域の景観上重視するだけでなく都市のアメニティーを保つうえで欠くことのできない条件であります。景観は歴史的に形成されてきたものであり、多くの時代の痕跡が刻まれ歴史や文化の由緒が刷り込まれています。人々は、自らの教養と志向をもって地域景観を風景として認識します。その人ごとの私の風景なのですが、ある地域景観をこのような風景としてとらえたいという風景観はそれなりに社会的に形成されるものであります。地域景観は、その地域の特徴を演出する舞台とし人々の活動やツーリズムと一体となって総合的に表現をおこなう場であり、視覚的な認識という最も総合性の高い方法によって自然や歴史、文化、人々の活動を表現していくものであり、景観という舞台装置を整えることで、はじめてこれらを包括的に理解させることができます。

### 2.2.3.2 いやし系地区

- 四季折々、豊かな自然と歴史の郷愁に誘われる地域 -

#### A 自然散策と野外スポット

- 浜名湖遊覧船……遊覧船で奥浜名湖を 30～60 分で周遊
- 竜ヶ岩洞……2 億 5000 年前の神秘的な地底が続く鍾乳洞
- 奥山高原……四季の花を楽しむテーマパーク等
- 細江公園……浜名湖・都田川が眼下に広がる展望公園
- 春の瀬戸……浜名湖の支湖、猪鼻湖に銀と赤の橋がかかる景勝地
- 遠州天竜下り……天竜川 6 キロを下る爽快な船の旅



#### B 歴史探訪

- 龍潭寺……小堀遠州作の国指定の名勝の庭園がある井伊家の菩提寺
- 長楽寺……満天星（どうだん）の庭が有名な真言宗の古寺
- 姫街道の石畳……東海道脇街道に残された昔をしのぶ石畳
- 気賀関所……徳川家康によって創られた姫街道の関所
- 奥山方広寺……臨済宗方広寺派の大本山
- 摩訶耶寺……鎌倉時代初期の庭園がある真言宗の古寺

## C 歳時記

- 姫様道中(4月第1土・日)……………お姫様、侍等100名以上の豪華絢爛の時代絵巻
- 細江神社祇園まつり(7月第3土・日)……………神社のご神体を舟にのせて浜名湖を回遊
- 三ヶ日まつり花火大会……………湖上で行なわれる打上花火大会
- 横尾歌舞伎(10月7・8日)……………推定200年以上前から伝承される農村歌舞伎
- 川名・寺野ひよんどり(1月3・4日)……………遠州から三河にかけて現存する田楽遊び

## D 中高年向けを中心とした「いやし系街づくり」の提言

この地域は、奥浜名湖の温暖の気候と四季折々の豊かな自然、また天竜川の緑に恵まれています。さらに姫街道に代表される歴史の薫る地域でもあり、いまでも数々の史跡や古刹が点在し、歴史好きには絶好の散策スポットです。これらの特色を活かして、中高年向けのリゾート、福祉施設等の「いやし系街づくり」を提言します。

### 【シルバー世代向けの長期滞在型リゾート施設・別荘用地の開発】

- 舘山寺・細江町の国民宿舎、舘山寺の休業ホテルを利用したリゾート施設  
舘山寺国民宿舎や休業中のホテルを市がいったん買い取り、その後民間事業とします。建物内はバリアフリーに改築し、医療スタッフも準備します。食事は和食中心とし、自炊設備も完備します。
- 別荘用地  
引佐町の奥山地区や環境保全地域である渋川を中高年向けの別荘用地として開発します。税法上でも、不動産取得税・固定資産税の減額・免除を検討したらどうでしょうか。また別荘新築

についても、住宅取得に準ずる減税を実施します。

- 休耕田・畑を利用した農作業・園芸体験

この地域は農業も盛んで、休耕田、畑もたくさんあります。そこで、希望者を募って、農地を貸し出し農作業を体験してもらいます。高齢者には、楽しみながら健康維持も実現できることになります。収穫された作物は、朝市などで販売したらどうでしょう。

### 【福祉施設の開発】

- グループホーム、グループリビング、ケア付住宅の推進・援助

超高齢化社会を向かえて「どう老後を過ごすか」について、さまざまな新しい考え方が生まれています。例えば健康な高齢者が友人数人とでいっしょに暮らす、少数の高齢者が家事を分担しながら、ヘルパーと共同生活をする。細江、三ヶ日地区にグループホーム、グループリビング、ケア付住宅を積極的に誘致・建設したらどうでしょうか。そしてこの地域から日本全国に日本人の新しい「豊かな老後の過ごし方」を発信・提案していきます。

グループホーム	少数の高齢者がヘルパーと共同生活するが、家族の一員として家事に参加する
グループリビング	健康な高齢者が例えば共有スペース、設備のある住宅でいっしょに暮らす
ケア付住宅	高齢者が安心して暮らせるよう設備や構造が工夫され、緊急用のシステムや介護サービスを備えた住宅

- シニアハウスの建設

シニアハウスの代表例として相模原市の「ドリー相模原」があります。これは、地上13階・地下2階の建物で、シニア住宅・デイサービスセンターの高齢者向け施設と保育所、賃貸住宅、店舗、診療所を併設し、住宅・施設の両面で多世代交流を実現した複合施設です。このようなシニアハウスを現在の天竜

市に誘致・建設します。

### 【高齢者の暮らしやすい街づくりの提案と実践】

- 高齢者住宅の貸付制度、生活福祉の貸付制度、シルバーハウジング事業の推進

高齢者が民間金融機関の融資制度を利用することはなかなか困難です。そこで住宅の新築・増改築のための貸付、あるいは低所得高齢者の生活資金の貸付制度を新設します。貸付け限度額は、上限 300 万円程度とします。また生活援助者（ワーデン）を配慮した高齢者向け公的賃貸住宅事業（シルバーハウジング事業）を推進します。

- 高齢者向けの相談窓口、援助体制の充実

この地区の区役所では、高齢者向け専用の相談窓口をもうけ、選任スタッフを常駐させます。そして、税金・介護・住宅・生活面などあらゆる問題を一本化して相談を受け付けます。また区役所は、相談だけにとどまらず各種専門家（税理士、弁護士、医者、建築業者、カウンセラーなど）の紹介も行ないます。

### 【高齢者向け専門の総合病院の新設・誘致】

三ヶ日、細江地区に、シルバー世代向けに特化した総合病院を新設・誘致します。ここでは、入院・リハビリ・ケア施設を充実させるとともに、日本有数の技術と知識を持つ専門医師を招きます。これにより、付近の高齢者が安心して生活できるだけでなく、日本全国のお年寄りが高度な専門治療を求めてこの地域を訪れることになり、環浜名湖の知名度も飛躍的にアップするのではないのでしょうか。

### 【NPO 法人“職人芸シルバー人材ネット”の設立】

わたしたちは平成 13 年度提言書のなかで、高齢者に就業の機会を提供する新たなシステム「シルバー人材ネット」を提言しました（平成 13 年度提言書 77～90 ページ）。これは、高齢者の知

識・技術・技能を登録しておく人材データベースと、それをネット上で条件検索する仕組みから構成されています。

いやし系地区にはシルバー世代を対象とした施設を新設します。シルバー世代の中には、まだまだ働く意欲のある人、一代限りで消滅してしまうには惜しい職人芸をもった人が大勢います。

そこで、この地区ではNPO 法人として「職人芸シルバー人材ネット」を設立します。ここでは高齢者のデータを管理して、要望に応じて適切な人材を紹介・派遣します。さらにこの地区の区役所に「シルバー人材情報局」を置き、各事業所の人事担当者や経営者が気軽に相談できるようにしておきます。

このようなシステムを作ることによって、シルバー世代に収入、生きがい、さらには社会との接点を持つチャンスを確認できることになります。

#### 【天竜浜名湖鉄道の積極的活用】

天竜浜名湖鉄道（天浜線）は、掛川新所原間の 67.7 kmの単線路線で、掛川で東海道線と新幹線に、西鹿島で遠州鉄道と、新所原で東海道線とそれぞれ接続しています。昭和 61 年に第三セクター鉄道として再スタートし、新型レールバスの導入、駅の新設、信号方式の更新を行いましたが、経営環境は改善せず、乗客も平成 3 年ころから頭打ちの状況です。利用客の半数は、高校生です。

しかし、この沿線は浜名湖を臨む風光明媚な風景が続き観光名所やハイキングスポットが点在しています。このままではせっかくの天浜線が「宝の持ち腐れ」になってしまいます。そこで、

- 豊橋直通の復活と遠州鉄道への乗り入れ

JR 乗り入れ用の機器を設けて豊橋直通を復活させる。さらに遠州鉄道へ乗り入れる快速電車を走らせる。これにより、天浜線が、浜松・豊橋への人の流れに対応できることになる。

- 各駅から観光名所までのバス運航の利便性確保

各駅の停車時間に合わせて観光名所までの小型バスの運行を行う。さらには、花火大会等のイベント時には、見物列車を走らせる。

## E スローライフ地区

製造業は、大量生産から多品種少ロットの時代になり、リストラや不当解雇、企業も労働者もさまざまな戦いがありました。また労働時間を減らし、ゆとりある暮らしを求める時代にもなりました。



ここ2,3年のキーワードのひとつに「いやし」があります。音楽、空間、カラー、香りなどさまざまな商品が生み出されました。これを一歩進めた「スローライフ」という言葉が最近聞かれるようになりました。生活全般をスローにゆったりと暮らしていこうとする考え方であり、高度成長期を過ごし日本全体が駆け足で走りここまで豊かになりましたが、いろいろな意味で岐路に立っているとと言えます。すべてを見直す大切な時期を向かえています。

### 【人間サイズの暮らし】

江戸時代までは太陽エネルギーの恵みで生活の大部分が成り立っていました。もちろん不便があるのも当たり前ですが、生活のすべてが人間サイズでのんびりとした暮らしが出来たのではないのでしょうか。

### 【四季を楽しむ暮らし】

四季を演出してくれるもの、旬の食材、風景、虫の鳴き声、野に咲く花、海の香り、山の色まだまだ多くの五感にうったえるものが沢山あります。旬の食材を添える器ひとつとっても四季に合わせて使い分ける日本人の心は優れた文化と言えます。



### 【自分自身の時間を刻む暮らし】

仕事に、家族に、社会生活にと当たり前のように時間を使っている。これも大切なことではありますが、ふとした時に何が豊かな生活なのか考えることがある。モノ、金、人、豊かな生活を営むには必要であるが、そこに自分の時間を持つことがより豊かな生活になることは間違いありません。

### 【交流のある暮らし】

夢のあるスローライフの街づくりや個人の生活を実現させる、と言う共通認識ベースに立って努力していく中で交流は生まれてきます。交流拠点をつくり出すことにより情報やモノなどの交換だけでなく安らぎや信頼の交換も生まれます。

### 2.2.3.3 まちなか地区

#### A 浜松市中心市街地

浜松市の中心部は商圏人口 120 万人の広域商業都市を支える一大商業集積地で商店数 1,368 (市全体の 21%)、売場面積 184,737 m<sup>2</sup> (同 26%)、年間商業販売額 1,780 億円 (同 22%) となっている。しかし近年は大型店の撤退による商業機能拠点性の低下、来街者の減少等による影響で中小小売業にも減少傾向が見られる。さらに消費構造の変化や交通基盤の整備等に伴い、商業機能が周辺部に分散化する傾向にあり、都心部の相対的な地盤沈下が懸念されている。中心部人口の減少[31,273 人 (H4) 28,039 (H9)]、また市全体に占める割合も 0.7 ポイント減って 5.0% となり、中心部の高齢者比率は 21.7% と市全体 (13.5%) を上回っている。こうした動向にてらして、都市機能のあり方を見直し、総合的な活性化を図るため、商業・業務機能をはじめ、にぎわいのある機能集積を促進するとともに、居住機能の再配置など都市再生に向けた市街地の再開発が必要になった。このため浜松市は中心市街地活性化法に基づき、平成 11 年 3 月に「浜松市中心市街地活性化基本計画」を策定している。現在の浜松市は中心市街地の活性化が都市政策の重要課題となっている。

【目標】 人口 = 35,000 人 (平成 9 年 : 28,039 人)

来街者数 = 20% 増加

年間小売販売額 = 2,100 億円 (平成 9 年 : 1,780 億円)

\* 対象区域は中央地区・駅南地区・東地区・北地区

\* 「中心市街地活性化計画」による。

第 4 次浜松市総合計画第 2 次推進計画 (浜松 21 まちづくりプラン) による都市機能の充実のためのビジョンを以下に示す。

- 浜松駅前地区市街地再開発事業の推進

都市機能の低下が著しい本地区において、組合施行の市街地再開発事業により民間活力を導入し、浜松市の玄関口にふさわしい快適でにぎわいのある都市空間を創出する。

【目標】 日程 = 平成 17 年度までに  
店舗、事務所等の都心型商業業務施設配置  
駐車場整備 駐車台数 400 台  
都心人口の回復 650 人 (住宅戸数 240 戸 × 2.7 人)

- 鍛冶町通り地区市街地再開発事業の推進

浜松中央地区・浜松中央西地区市街地再開発事業により、中心市街地の核となる生活交流拠点を一体的・総合的に整備し、まちの活性化を図る。

【目標】 日程 = 平成 13 年度  
2 核 1 モール型の商業地整備  
歩行者空間の整備、地下連絡通路、上空連絡通路、中央広場  
都心人口の回復(2 地区)275 人(住宅戸数 102 戸 × 2.7 人)

- 東地区市街地再開発事業の推進

東地区の土地区画整理事業による都市基盤整備に合わせ、市街地再開発事業による建築物の敷地統合や一体利用など土地の高度利用を図り、商業・業務・都心型住宅・健康福祉施設等の公共公益施設を配置し、快適で安全な利便性の高い都市空間を創出する。

【目標】 日程 = 平成 17 年度までに  
都心人口の回復(4 地区)872 人(住宅戸数 323 戸 × 2.7 人)  
店舗、事務所、病院等の都心型商業業務医療施設の配置

- 駅南地区土地区画整理事業の推進

駅南地区の中心として公共施設の整備や良質な都市型住宅、商業業務施設の立地を推進し、駅北地区との連携を強化して複合市街地の形成を図る。

- 東地区土地区画整理事業の推進

都心の新拠点として歩行者軸となるシンボル道路をはじめとする公共施設の質の高い整備を行なうとともに、民有地においては再開発、共同化を誘導し、県西部の業務拠点地区として商業・

業務機能の集積を図る。また、静岡文化芸術大学やシビックコア地区などの資源を活かして都心地区にふさわしいにぎわいのある機能を整備するとともに、良質な都心型住宅の供給を進め、定住人口の増加を図る。

【目標】 日程 = 平成 17 年度末  
宅地整備面積 29.47ha (平成 11 年度末 13.93ha)  
地区内人口 5,700 人 (平成 11 年度末 2,050 人)

## B 「住」拠点としてのまちなかの魅力

- 人の集まる都市機能の再構築を図るため、回遊性や界わい性のある歩行空間の整備が進められるとともに、消費志向の多様化、個性化に対応した特色ある店舗の形成によりショッピングの魅力が得られる。
- アクトシティにおける文化芸術や産業交流機能をはじめ情報を創造し発信する拠点機能としての位置付け、イベントコンベンションの実施、さらには映画館、アミューズメント施設等の充実。芸術には人と人との関係を再編成していく力、文化も内在する。そうした精神的優位性の実感
- 専門的医療機関、健康福祉施設等が利用できる利便性
- 浜松の都市機能は車社会の成長とともに形成してきたため、車を使わない有益性は議論されなかった。しかし中心市街地活性化問題がクローズアップされるにつれて、トランジット・モール、パークアンドライドの実験、さらにはタウンモビリティ構想等で都市交通の根本が見直されている。
- バリアフリーやユニバーサルデザイン、公共施設を兼ね備えた多機能住宅が多く建設されることによる住環境のゆとり。

このような居住環境の向上は良質な都市型居住機能を高め、定住人口の拡大を図る推進力になっていく。行政においても多様なニーズに対応した公営住宅の整備（特に高齢者社会に向け、手すり、スロープ、緊急システムの設置など高齢者や障害者が安心して暮らせる公営住宅）、公団、

公社などとの連携のもとに都市型住宅の供給。民間の良質な賃貸住宅への建設補助や家賃助成を行い、中心部の居住環境を整えていくことが必要となる。

今後中心部（特に東地区）は人口を回復し、高齢者、障害者が共存する住居が建設され、人と環境にやさしいコミュニティを構築することで中心市街地活性化の一翼を担うことが充分予想できる。

### C 「食」拠点としてのまちなかの魅力

住環境が整いまちなかの人口が増加すると、人々の暮らしを支える「食」を文化として地域性を生かした内容で検討する必要がある。

#### まちなかの商業（小売業）の問題点

（浜松市商工業振興計画策定事業・平成 13 年度版による）

景況について、「停滞気味」「衰退している」が 90.4%にのぼり消費マインドの低下と活性化の必要性を裏付けている。

#### 消費者の買物場所（浜松市全体に対し）

（単位%）

買物場所	買回品 (増減)	最寄品 (増減)	贈答品 (増減)	外食 (増減)	サービス (増減)
中心商店街	2.9( 0.9)	0.3( 0.1)	0.8( 0.3)	7.1( 0.3)	0.5(-)

浜松商工会議所「浜松市の買物動向調査」(平成 13 年 3 月)

業種別で各種食料品小売業においては、売上見通しについて「増える」と答えた割合が 17.1%、「変わらない」が 12.1%、「減る」が 48.7%、「分からない」が 18.4%となり、酒小売業、鮮魚小売業、野菜・果実小売業においては減収見込み割合がさらに高くなる。

《売上が減る理由》について具体的にたずねたところ、寄せられた回答で主なものを以下に示す。

- ・ 大型店、競合店の出店、改装
- ・ 競合店の増加による競争激化
- ・ 景気回復が望めない
- ・ 店舗が小さい、老朽化、魅力が無い、品揃えが不十分
- ・ 来客数、客単価の減少、買い控え、消費の仕方の変化
- ・ 経営者、従業員の高齢化、後継者不足
- ・ 資金難
- ・ 店舗周辺人口の流出
- ・ 都市計画で交通の便が悪くなる

《売上見通しが分からない理由》について具体的にたずねたところ、寄せられた回答で主なものを以下に示す。

- ・ 景気動向の見通しが立たない
- ・ 大型店の相次ぐ撤退、客層の変化等環境の変化が大きく今後の状況が掴めない
- ・ 中心地の再開発でどの程度人が戻ってくるか見通しが見つからない

中心市街地の商店街が大型店の出店により影響をうけているかと言えば、「マイナスの影響」があるとの回答が半数を超えるが、浜松市の大型店の集積度・占有率は、類似規模都市と比較して平均である。しかしマイナス要因としてとらえられていることは、中心部に内在する問題とを切り離して検討する必要性がある。

将来の方向では、商店街ではリーダーとなる人材不足（17.9%）、店舗においては後継者不足（45.8%）があり将来性を危惧する声が聞かれる。

中心部商店街の課題として以下の事項が挙げられている。

- ・ 商圈人口の減少 34.9%
- ・ 駐車場難 24.2%
- ・ 立地条件の悪化 20.8%

それでは現状の問題を打開し、経営に対する取組を考えている事業所にその内容を具体的に尋ねたところ寄せられた主な内容を以下に示す。

- ・顧客のニーズを取り入れ、顧客満足度の向上とリピーターの増加
- ・人間対人間の血の通った古い型の商売を徹底追及する
- ・地域密着型の経営
- ・経費削減
- ・IT関連への取組
- ・商品力の強化
- ・経営・集客・販売品・人的効率についての勉強
- ・店舗のスクラップアンドビルド
- ・同業者間の協業等強化対策および異業種への展開
- ・大手にできないサービス、専門店ならではのキメの細かい商売
- ・高齢化、健康志向社会に対応した営業戦略

中央及び駅南の商店街の活性化策について寄せられた回答の上位3位を以下に示す。

地 区	N	1 位	2 位	3 位
中 央	327	駐車場の確保、 拡充 26.9	街路灯、アーケード、カラー舗装等の整備による快適な商業空間作り 22.0	個店各自の努力であり、商店街の問題ではない 21.1
駅 南	175	再開発事業による商業地の近代化 20.0	駐車場の確保、拡充 17.7	個店各自の努力であり、商店街の問題ではない 16.0

## 浜松市が取り組む都心商業活動への支援

快適で魅力ある都心商業空間を創出するため、若手商業者に対する人材育成やウィンドショッピングを楽しめる魅力的な商店街づくりを進める。

### 【目標】

若手商業者 リーダーの 養成数	…	30人 / 3年（平成14年度～16年度）
平成17年 度 中心市 街地におけ る小売業年 間商品販売 額	…	2,000億円 / 年  （平成9年度/中央・駅南・東・北地区 = 1,780億円）

中心市街地活性化策において現在、アクセス方法であるとかイベント実施といった方策が検討されているが、中心市街地は「人が回遊できる機能」を持つ事が必要であり、大規模商業施設と商店街が持ち味を生かして全体の魅力を作り出すことが必要である。あるときは夢と驚きと満足を与えるテーマパークの要因も兼ね備えなければならない。駐車場等のハード面より来訪者がいかに喜ぶか、いかに満足するかに視点を移すことで街づくりの側面が見えてくる。魅力ある街には必然と集客効果が発生し人が集まる。慢性的な沈滞ムードが蔓延する中心部において各商店が個別に現状打破していくのは難しい状況にあり、どうしてもそこには行政が出発点となる大掛かりなしかけが必要となる。

環浜名湖都市構想においては中心市街地が担う役割を前面に押し出す必要があり、その中で活性化の問題に取り組むべきだと考える。環浜名湖都市構想において、中心部は「住」と「食」を担う事を提案する。

## D 食料品店を集結して巨大な食品市場（いちば）の形成

中心部の人口が増加し、もともとある周辺部の人口もあわせれば「食」の一大マーケットが出現する。個々では限界のある食料品店も集結し工夫することで大規模店を超える品揃えとこれまで培った経験できめこまやかな営業展開が可能となり、にぎわいと昔ながらの人情あふれる市場に中心市街地活性化の先導役を託してみたい。

- 場所……………駅南地区（砂山町）の限定した区域
- 土地の確保……………現在の中心部の地盤沈下、空き店舗、空き土地の状況に憂慮する地主から実勢価格で市が借り上げる（土地の有効利用。）  
小規模店舗用に区画整理をしたあと出店希望者に低価格で店舗用地を賃貸する。業種は食料品小売業に限定する。  
出店者は店舗を建築、または改装する。撤退時には店舗を売却することができる。居住部分は作らない。
- 企画、運営……………企画運営については民間、もしくはNPOが委託されるものとする。

### 委託内容

- 経営指導・経営計画の立案、展開  
経営コンサルタントによる経営バランスの確保、経営分析、経理処理および決算申告等
- IT化の支援  
ホームページの作成、いちば内ネットワークの構築、ショッピングモールの維持管理、顧客管理、各種ソフト化支援等
- 宅配サービスの導入支援  
中央住居地に居住する高齢者、障害者等に対する宅配サービスの導入

- カード事業  
デビットカード、ポイントカードの導入
- 流通事業  
食品の協同購入化、新規生産者の開拓
- 各種イベントの開催  
集客目的のイベントの開催
- 広報活動  
環浜名湖市の内外に向けての広報・宣伝活動

### 市場（いちば）導入のメリット

- 生産地に近い利便性  
もともと浜松市は温暖な気候に加え、東京と大阪の2大消費地の中間にあるという恵まれた立地条件を生かし、多用な消費者ニーズに対応した付加価値の高い都市型近郊農業が盛んであり、水産業では浜名湖の優れた漁業生産力を維持発展させるべく「つくり育てる漁業」が積極的に進められ、近隣の漁港からの水揚げ等農業水産資源ともに好環境の中にある。環浜名湖市においても第一次産業の生産高は他の政令指定都市に比べ多く、いちばに出店する商店においても近くで良質な食材を調達できるメリットがある。
- フェイス to フェイスで心の通った商い  
個人商店であるため売る方と買う方の顔が見える商売となる。店においての客とのコミュニケーションは商品情報の提供、顧客のニーズの把握においては欠かせないことであり、生産者に対する信頼度が増し、しいては顧客満足度の上昇にもつながって行く。なによりも商店主の長年にわたって培った商品知識を客との会話の中で提供できることは、商店主にとっても喜びであり、活気ある店づくり、健全経営の基本となる。
- やる気のある業者が集まる  
同業者が集まる事で、他店にはない品揃え等の経営努力が必要

となり、ポジティブな考えが根づく。他店との意見交換、情報交換も容易にできる。消費者からみれば郊外の大型店より多くの店舗、多くの品揃え、豊富で個性的な食材、商品知識の提供等買い物的好奇心を満たしてくれる。

- 専門店の集合

浜松は外国人が多く居住するため外国の食材を扱う店舗も必要となる。たとえばブラジルの食材を扱う店を集めたり、韓国の食材を扱う店を集めることで外国人も買い物がしやすく、さらに専門的食材が入手できることで料理店からの注文も入るようになる。外国人にとっても「食」を介した情報の発信源となる。

- サポート体制の充実

対象が集まる事でサポート体制の充実が図れる。現在県では『中心市街地活性化貸付』において中心市街地活性化に資するために、店舗の改装等を行うのに必要な設備及び運転資金を低利で融資しているが、この地域限定の設備投資に対する融資、助成を創出していく必要がある。さらに既存の助成金に対しては企画運営機関が経営サポートの中で実施していく。

- 他の業種への波及

市場（いちば）に活気があふれ、人が集まりだすと周辺地域の有効活用ができる。例えば飲食店の集合体を隣に作る。客の意向を踏まえ同種の飲食店を集める。鰻屋・寿司屋・ラーメン屋・居酒屋・さらには韓国料理・ブラジル料理といった小店舗が軒を連ねる。店が集まる事で客を引きつける力は増加する。客がうなぎの店舗群に来れば後は各店の努力でリピーターの増加を考える。

- 駅北地区とのアクセス

駅北より駅南の市場（いちば）に来る為に便利な方法が考案される。駅北と駅南を結ぶ連結通路（動く歩道）、東地区と駅南を結ぶまちなかループの増設、遊歩道の拡充等駅南をふくめた地域で人の回遊できる環境を整備する。

- 安い賃借料

市が地主から借り上げ、その価格で貸し付ける為、賃借料は安い。

中心市街地への出店希望のアンケート調査によると「現在出店していないが出店したい」と答えた方（件数 = 90）でその課題として、良い場所がない 29%、賃借料 22%、情報不足 13%、土地購入費 9%を挙げている。



環浜名湖市実現のプロセスにおいてまちなか地区は現在のマイナス要因から大きく方向転換し政令指定都市の活力源となることが必要条件である。「住」と「食」の観点から市の台所となるべくその重要性を発信して行ってもらいたい。その推進力となるのは「人と人を思いやる心」であると考えます。

## 2.2.3.4 産業先端地区

### A 現状の環境把握

浜松市の北部、東名高速道路から浜北市にかけてこの地域は、東は天竜川、西は三方原台地に囲まれています。また南に東名高速、北に第二東名が走る事となっており、その間を南北に笠井街道が拡幅されて接続します。また、浜松西インターも浜松外環状線によりアクセスしていることから、流通の要として重要な地域になることが予想されます。

この区内には、浜松医科大学や浜松大学、また都田テクノポリス内には工業技術センターがあり教育・研究の中心として発展しています。また、浜北市平口の浜松ホトニクス（株）の中央研究所（リサーチパーク）は、文部科学省主導のもと日本版シリコンバレーを目指してスタートした「知的クラスター計画/浜松地域オプトロニクス（光工学）クラスター構想」にとって中心的役割を担っていくと思われれます。

「知的クラスター」は、文部科学省が推進するプロジェクトで「地域の大学等の地域的特色のある研究成果と研究人材を基礎として、これらの研究成果や研究人材が、地域に育まれてきた産業と有機的に結びつくことによって既存産業の技術革新を触発し、世界に対抗し得る新たな産業の創出を目的とする」としています。

### B 今後の方針

前述のような現在の環境を生かして、この地区では、今後、どのような方向で街づくりを考えていけばよいのでしょうか。

遠州地方はこれまで楽器や輸送機器の製造で成り立ってきました。しかし中国をはじめとする東南アジアに生産拠点が移っていく中で産業の空洞化が起こりつつあります。今後もこの傾向が続いていくと思われ、次世代の産業を育成していくことが、非常に重要かつ緊急な課題となります。

この地方はこれまでも、豊田佐吉翁や本田宗一郎氏、高柳健次郎氏に代表されるような日本の最先端の技術・研究を担った科学者・研究者・経営者を輩出してきました。そして最近では、浜松ホトニクス（株）の

光電子増倍管が小柴昌俊東京大学名誉教授のノーベル物理学賞の受賞に大きな役割を果たしました。また、世界に通用する技術を持つ中小企業が多く存在し、モノづくりによって発展を遂げてきた当地域の高いポテンシャルを示しています。今後はそれらの技術を生かしていくとともに、産学官が一体となった研究開発が必要となります。

### 【ライフサイエンスバレー】

現在、先進国の多くは、高齢化の問題に直面しています。特に日本は、2010年には、65歳以上人口が全人口の20%となると予想されており、高齢化が最も進んだ国となっています。また、平均寿命は男女とも世界第1位で、100歳以上の老人も1万人を超えています。こうした状況から、壮年期・老齢期の「生活の質」「生命の充実度」を問うクオリティ・オブ・ライフが重要と考えられるようになってきました。そのためには、病気が顕在化してから治すのではなく、早い段階で発見、治療への道を開くことが大切になってきます。

また、ヒトゲノムの解読が完了し、一人一人の遺伝情報に基づく「オーダーメイド医療」の時代が到来しようとしています。その発展に必要な遺伝子工学・分子生物学などのバイオテクノロジーも重要なキーテクノロジーとなります。

この地区には、浜松医科大学光量子医学研究センターがあり、光技術を医学に応用する生命科学の最先端の研究に取り組んでいます。また、大学の統合が全国で進んでおり、浜松においても静岡大学の工学部と浜松医科大学の統合が行なわれようとしています。これにより、最先端の技術開発・研究が多岐にわたって進展すると思われれます。特に、静岡大学電子工学研究所は、世界に先駆けてテレビジョンを発明した高柳健次郎先生の功績を顕彰して開設されて以来、最先端のイメージング技術の研究に取り組んでおり、バイオテクノロジーや放射線医学の現場で新しい可能性が生まれていくと思います。

さらに、都田テクノポリスには、高度技術を有する研究開発型企業が集積し、静岡県浜松工業技術センターや静岡大学地域共同研究センター

があり、強固で充実した産学官連携を実現できる環境があります。

以上のような、恵まれた環境のなか、高度な光技術・イメージング技術と医学・生物学・薬学のコラボレーションにより、世界で最も進んだ「生命を育み、健康を守る技術の集積地」、すなわち、シリコンバレーではなく、「ライフサイエンスバレー」あるいは「メディカルバレー」として、企業、科学者、技術者が集まってくる地区として発展するべきだと考えます。

### 【産学官共同事業】

研究開発型の企業を育てていくためには、効率よく「官」や「学」が持つ最先端の技術を「産」が自由に制約なく、使用できるように調整する必要があります。

1998年には、「官」「学」における技術に関する研究成果の「産」への移転の促進を図るための方策を用意し、新たな事業分野の開拓や「産」の技術向上と「官」「学」における研究活動の活性化を図り、それによって日本の「産業構造の転換の円滑化」、「国民経済の健全な発展」と「学術の発展」に寄与することを目的とする大学等技術移転促進法（TLO法）が施行されています。この法律の中で中心的役割を果たす技術移転機関（TLO：Technology Licensing Organization）とは、特許性、市場性を評価した上で、大学等の研究者の研究成果を譲り受け特許化するとともに、積極的に企業への情報提供、マーケティングを行って、最適な企業へのライセンス等により技術移転を図る組織です。また、取得した特許権については、適宜、権利の再評価をすると共に、権利侵害への対処等適切な管理を行います。TLOが得た収益は、研究者だけでなく大学等にも還元し、さらなる研究資金として活用します。

また、企業からの共同研究や委託研究を受託し、「産」と「官」「学」の架け橋となっていくこともTLOの重要な役割となります。

財団法人 浜松科学技術研究振興会（静岡 TLO やらまいか）や浜松地域オプトロニクスクラスター構想における産学官共同研究・成果育成研究、静岡大学のベンチャー・ビジネス・ラボラトリーなどの同様な機関

を活用・調整し、この地区内に TLO を設置もしくは移転し、官・学が有する技術やノウハウの事業化を促進し、特許の開放をすすめ、新しい技術・研究成果の速やかな事業化を支援していくことが望まれます。

企業が必要とする技術、生かしたい技術と、大学等有する研究成果を効率よく結びつけ、新しい事業の萌芽が次々に生まれ、成長し、集積していく地区を誕生させていくためには、企業の潜在能力もさることながら、よい触媒がなくてはなりません。

### 【インキュベーション】

浜松地域テクノポリスの中には、インキュベートセンター（テクノフロンティア浜松）があります。このようなインフラ面での支援を大規模にかつ高度に展開し、新しい事業の発展を支援していただきたいと思います。次々とライフサイエンスに携わる研究開発型企業を誕生・発展させ、集積させていくには、一定の条件を満たす創業者に十分な工場・実験室や研究機材・実験機材が提供され、その創業者が殻を破り大きく育つための孵化器が必要です。

インフラ整備に加え、経営、経理、人事等のソフト面の支援をするために、創業者に税理士、中小企業診断士、技術士、弁理士、社会保険労務士等の専門家を斡旋したり、それらの専門家を利用する際に、発生するコストを補助する等、ソフト面の支援も重要です。

一般的なインキュベート施設は、インフラ面の支援に偏っており、マネジメントや管理に目を向けない傾向があります。魅力あるインキュベート制度としていくためには、ソフト面の支援の充実も必要と思われます。また多くの創業者あるいは創業間もない企業がこの制度を知り、この地に集まるようにするには、日本国内ばかりでなく、広く世界に向けたPRを行い、世界中からインキュベート施設への入居希望がなくてはならないと思います。

### 【資金調達】

さらに、この地区に多くの企業が生まれ、育ち、産業として集積して

いくためには、環境や施設・設備の他に、資金が必要であることは言うまでもありません。

この地区に集積すべき「ライフサイエンス」に関わる産業は、ある意味、設備産業であり、創業期・成長期ともに資金需要が大きいという面を持っています。日本の企業は資金調達を間接金融に頼る傾向が強く、長期的に見て企業が安定して成長するためには、不安要因となります。また、金融機関による融資は、担保がほとんどないうえに、歴史もなく、特に創業期であるが故に、まだ十分な利益を出せない企業に対しては、限界があります。そこで、この地区の創業者・創業間もない企業を支援・育成するためにいくつかの直接金融による資金調達の道を準備する必要があります。

エンジェルや既存のベンチャーキャピタル、地元大手企業から、この地区の企業に対し投資を行う「投資ファンド」への参加者を募り、その投資ファンドの資金調達に保証を付けたり、投資ファンドへのPRを市が行う等、積極的な支援をしていただきたいと思います。

工業技術センターや技術士による技術評価、公認会計士や税理士による財務状況の審査等を厳正に行い、投資が決まった企業に対し、人材の紹介（コンサルタントや総務・経理・人事等に明るい人材、品質管理に明るい人材、量産技術に明るい人材、営業やマーケティングの指揮を執れる人材、技術者や研究者等々）、営業面で業務提携できる企業の紹介、証券会社や公認会計士、税理士等に協力してもらい株式上場を視野に入れた株主づくりのアドバイス等、その企業が順調に発展していくための援助を行うサポートセンター（ベンチャーサポートセンター）を市に用意していただき、「投資ファンド」による投資の成功確率を高めていくことも重要であると思います。

しかしながら、「投資ファンド」の出資により財務体質が強化され、上述の「ベンチャーサポートセンター」の支援により、経営状態が向上したとしても、未公開会社の資金調達方法は、金融機関からの借入、縁故者への株式発行、私募債くらいに限られます。そこで、株式を公開すれば公募増資はもちろんのこと、新株予約権付社債、公募普通社債の発行によって資金を集めることが可能になり、さらに円建てに限らずドル、

スイスフランなど様々な外貨を選択できます。これらの多様な資金調達手段の中から、企業の財務内容、事業ニーズにマッチしたものを選ぶことが可能になります。

マザーズ、大証ヘラクレス、店頭第 2 号への上場基準は一部・二部市場に比べ大幅に緩和されており、中小企業であっても事業内容によっては十分に上場可能です。

この地区に集積した企業から、いくつもの上場企業を輩出することにより大きな雇用を産む産業として根付いていくものと思います。

### C 住環境の整備

研究開発のための用地は、浜松地域テクノポリス構想の一環として浜北市に新都市開発事業がこれから着手することになっており、充分確保されると思います。

しかし、全国から最先端の技術者・研究者を集めるには、当然それなりの住環境が必要であり、他の市町村と差別化されていることが必要です。例えば、この地域で働く技術者・研究者に限定して、家庭農園ができるくらいのかなり広めの区画で宅地を販売する。あるいは、建て貸しするとか、オランダのアメルスフォールト市にできたソーラータウンのような環境にやさしい街づくりでアピールするとかの工夫が必要と思われます。

さらに、技術者・研究者の子弟の教育に対する配慮が重要と考えます。有名進学校の誘致や浜松医科大学や静岡大学工学部に入学するための特別な教育機関などの地域内に配置など従来の常識を越える配慮が必要と考えます。

また、幼稚園や小学校などが、技術者・研究者の居住区付近にあることも重要となります。

参考：ソーラータウン ～環境先進国オランダに学ぶ～

（岐阜県海外駐在員リポートより）オランダ駐在員 村田 高広

（2002年2月19日 岐阜新聞に掲載）

アムステルダムから東約40キロ、アメルスフォールト市のニューランド地区に世界でも類を見ない大規模なソーラータウンがある。6490戸の住宅のうち約8割がソーラーセル（太陽電池）を備え、年間総発電量は1110メガワットでこの地区の消費電力の半分を賄う。

住宅や幼稚園、スポーツセンターなどの屋根、壁面にソーラーセルが埋め込まれている。屋根一面がソーラーセルの住宅もあるが、外観上ソーラーセルが見えない住宅などさまざま。購入費用も他の住宅とさほど変わらない。

こんなデータがある。太陽光発電の生産量、発電量、技術開発の先進国は日本で、世界の太陽光発電量の約4割を占め、オランダは約2%。「風車の国」オランダの風力発電はデンマークやドイツ、アメリカに追従しているにすぎない。

では何が環境先進国なのか。ニューランド地区は初めからソーラータウンを目指したわけではない。市は街の開発を計画する際、環境デザインの第一人者であるデルフト工科大学のデュイフェスタイン教授をコンサルタントに起用した。そこに電力会社のREMU（レミュー）や住宅開発業者が加わり、産学官が一体となってエコタウン開発が始まった。エコエネルギーの供給は最も低コストな風力発電が導入されるケースが多いが、同地区は安定した風力がないため、太陽光発電にした。



こうして開発されたエコタウンは分譲され、市民は一般の住宅と変わらない。それ以上に魅力的な住宅を手にする。ソーラーセルの所有や電力の使用、売買のシステムは個々の住宅によって異なるが、街全体が太陽光発電所といった感がある。

オランダはコンセンサス社会で経済、福祉などすべて各界に枠を超えて話し合う。産業界と政府で交わすコブナント（盟約）と呼ばれる自主協定の数は他のEU諸国と比べて群を抜く。この盟約の下、合理的かつ効率的なシステムをつくり、環境政策もみんな合意し、住みよい街づくりを進めている。

## D 今後の課題

この地区の道路は、南北にはR152や拡幅予定の笠井街道、また都田地区には満州街道がはしっているため、現在の浜松市中心部からはかなり利便性が良くなっています。しかし、東西の幹線道路がないのが現状です。この地区の南側には浜松西インターから延びる浜松外環状線がありますが、R152までとなっていますので、早期に笠井街道、最終的には天竜川堤防道路まで到達することが必要です。また、北側の幹線としてR362の拡幅が予定されています。これについても第2東名のインターから都田を通過して細江に抜ける道路として、重要な役割を担っていくと思われます。他にも現在の浜北市では道路の整備が遅れていますが、一体的開発により浜北の中心市街地が活性化され、この北区の中心として、また環浜名湖の副都心として発展していくと考えます。

また浜松市においても、半田や有玉地区が住宅地として開発されてきていますが、幼稚園や小学校が近くになく、教育環境が悪いため、永く住む人が少ないようです。こういった問題に対しても、浜北市と1つの区になることにより、浜北新都市開発地区と一体となった効率的な開発、整備が可能であると考えます



### 2.2.3.5 スポーツ・コミュニティー地区

#### A 現状の環境把握

浜松市の南東部に位置するこの地域は、東に天竜川、南に遠州灘海岸と水に恵まれていると共に、年間の日照時間が日本で 2 番目に長いこの遠州地方の環境にも恵まれて、渡り鳥をはじめとして野鳥の生息地でもあり、また日本三大砂丘のひとつ中田島砂丘はアカウミガメの産卵地として知られています。

遠州灘海浜公園には、公園をはじめサッカー場、アスレチック広場などがある上に、浜松市南部焼却場に面した江ノ島水泳場を新しく国際公認取得可能に建て替える計画があり、今後スポーツのメッカとなっていくことでしょう。また、特に馬込川の河口付近には野鳥の観察小屋があり、バードウォッチングが楽しめます。

現在では、スポーツやキャンプなどアウトドアを楽しむ人が増えています。子供たちと一緒にサッカーなどに汗を流すお父さんの姿も目につくようになってきました。ぜひこの南区をスポーツを見たりまたやったり、キャンプやバードウォッチングなど全般的なレクリエーションのメッカとして整備していったらどうでしょうか。また同時に中田島砂丘をはじめとする海岸線をいかにいかして、観光や産業に結び付けていくか大事となってきます。

#### B 中田島砂丘の有効利用

現在、中田島砂丘は観光としての位置付けにおいても市民にとっての憩いの場としても中途半端な感じがします。この自然の恵みを生かして、観光や産業の発展に結び付けていくことが必要ではないでしょうか。そこで、県内でも御前崎に設置されたような風力発電所を造ってはどうか。これまではどちらかという観光的要素がほとんどでしたが、遠州の「からっかぜ」を生かせば十分コスト的にも見合うはずです。

風力発電の建設コストは、400 キロワットの発電機が 1 億 5000 万円ぐらいです。100 万キロワットの能力に直すと 2500 基必要だから建設コストは 3750 億円です。同規模の火力発電所の建設費は分かりませんが、原

子力だと数千億円。風力は初期コストは高いですが、燃料代がただだという点にこそメリットがあります。

#### 参考例：南十和田風力発電所

出力	7650kw(850kw×9基)/デンマーク・ベスタク製
ローター（羽根）	52m×3枚
タワー（塔）	高さ 65m
高さ	92m(ローター先端まで)



因みに、風力発電を観光の名所としている山形県小国町では、町費で風力発電システムを購入したためコストは運用だけの管理費だけです。つまり町民はほとんどただで電力を使用できる考えです。そうなるとその電力を販売した場合どうなるかと発想が広がります。400キロワットの風力発電所を24時間、365日フル運転すると、発電量は約340万キロワット時。一昨年からはまった卸電力の販売価格は1キロワット時当たり8円前後とされていますから年間2700万円の収入となります。

また産業面でも、このほど富士ゼロックスが日本自然エネルギー株式会社と「グリーン電力証書システム」の契約を終結した風力発電が開始されました。15年契約で年間170万kwhの「グリーン電力証書」の供給を受けます。

日本自然エネルギーに南十和田風力発電所の風車一本を指定し風力発電の実施を委託し、日本自然エネルギーは富士ゼロックスに発電実績を

証明する「グリーン電力証書」を発行します。この証書にもとづき、通常使用する電力を自然エネルギー電力に転換したとみなされるのです。

今、世界的にCO<sub>2</sub>排出量を削減する傾向にあります。この地方は特にこれまでCO<sub>2</sub>を排出することにより生計を立ててきたといっても過言ではありません。今後、世界に発信する企業はきちんと環境面に配慮しなくてはなりません。その点からもこういった取り組みを行政レベルで考える必要があるでしょう。

### C グリーン電力証書システムとは

- (1) 企業が日本自然エネルギーに風力発電の実施を委託
- (2) 同社が風力発電業者に再委託
- (3) 委託された発電業者が風力発電を実施し電力を電力会社に販売し、同時に日本自然エネルギーに発電実績を報告
- (4) 企業は日本自然エネルギーから風力発電実績を証明する[グリーン電力証書]の発行を受け、電力会社から従来通り電力の供給を受ける
- (5) 風力発電された電気は実際には地元で使われるものの、その際CO<sub>2</sub>排出量が削減されるので、企業は「グリーン電力証書」に基づいて、通常使用する電力を自然エネルギー発電に転換したとみなすことができる

というシステムです。

(参考)

現在、世界一大きな風力発電機は、デンマークのエヌイー・ジー・ミーコン社製で、羽根の直径が92m。  
1基で2000世帯の一年分、2750kWの発電能力がある。  
建設費以外で約3億円 海上運搬でしか設置できない。

## D スポーツと環境学習の場づくり

この地域がサッカー場や水泳場をはじめとする、スポーツを楽しんだり、見たりする施設が集まっていることはすでに書きましたが、今後さらにこの地区に陸上競技場を移転させてはどうでしょうか。

現在浜松市には上島に野球場と陸上競技場がありますが、野球場は今年度改築がされて広く生まれ変わりますが、陸上競技場は第2種公認ではありますが、観客席も5000席程度ですし、大会も少なく中途半端な規模になっています。そこでこの南区にもっていくことにより、現在の四つ池公園内にもスペースができ、より一層野球場も生かされるでしょう。もちろん袋井には県営のエコパもありますので、大きな大会を誘致することが目的ではなく、市民が手軽に楽しめるような規模が最も適しているかと思います。



またこの地域、特に馬込川河口周辺は野鳥が多く集まることで有名です。これを生かす意味でも自然の体験や環境保護の学習の出来る体験施設のようなものをスポーツ公園に隣接するかたちで整備してはどうでしょうか。これにより、先ほど書いた風力発電も含めて環境を総合的に体験、学習できるでしょう。

# 五つの地域の競演で“あこがれ”の 都市を



## 3.1 地域相互補完

浜名湖を中心とする県西部地域の伝統・文化・歴史など経過を十分に生かしながら広域圏における正しい役割を果たす地域(クラスター)をちりばめ地域どうしが相互に補完し合う多中心の都市圏を創出します。その地域どうしの相互補完が五つの地域の競演をより促進していきます。

- 技術者・工業力の豊かさを発揮したクラフトパーク

ものづくりの街として発展してきたこの地域には、いろいろな分野の技術者や工業力が豊かであります。この蓄積された好条件を活用していくことが大切であり、例えばアミューズメント地区に集まった車・オートバイ関連の店やイベントなどでの参加者よりの注文、相談などあらゆる需要にこたえる技術や知識を持っている人材を、いやし地区などでの「シルバー人材ネット」で見つけだすこともできます。この地域にすればその分野のメーカーや、一品モノ・関連モノ情報までのすべてが供給できるクラフトパークを目指していきます。

- 温暖な気候、豊かな自然の恵み

いやし地区での休耕田・畑を利用した農作業は、高齢者の楽しみや健康維持の面でも大切であるが、“こだわり”の作物収穫にもつながります。シルバー世代に収入、生きがいさらには社会との接点を持つことも大切であり収穫された作物を販売することでより生活に満足感を増すことが実現できます。これはまちなか地域での「食」の拠点としてのまちなか魅力づくりにも地域性を生かすという意味でも取り組むことができます。

食料品店を集結した市場「いちば」の中に、“こだわり”の地域性の高い作物として販売します。販売には収穫者が直接販売員となり、フェイス to フェイスの心の通った商いを目指します。いやし地区とまちなか地区との人々とのふれあいの中から、相互に各地域を理解し合い交流できるものと思います。

- ライフバレー地域「生命を育み健康を守る技術の集積地」  
産学官連携を実現できる環境が整った地域、高度な光技術・イメージング技術と医学・生物学・薬学のコラボレーションにより世界で最も進んだ「生命を育み健康を守る技術の集積地」に企業・科学者・技術者が集まる地区としての発展を目指します。  
この地域に集まってくる技術者や療養者他の人達の住環境を考えた時“スローライフ”生活全般をスローにゆったりと暮らすことのできる地域も重要になってまいります。ライフバレー地域は健康生活の交流拠点として周辺地域との仕事・モノ・情報・サービス・技術などの交流だけでなく“やすらぎ”や“信頼”の交換を生み出す大切な役割となります。

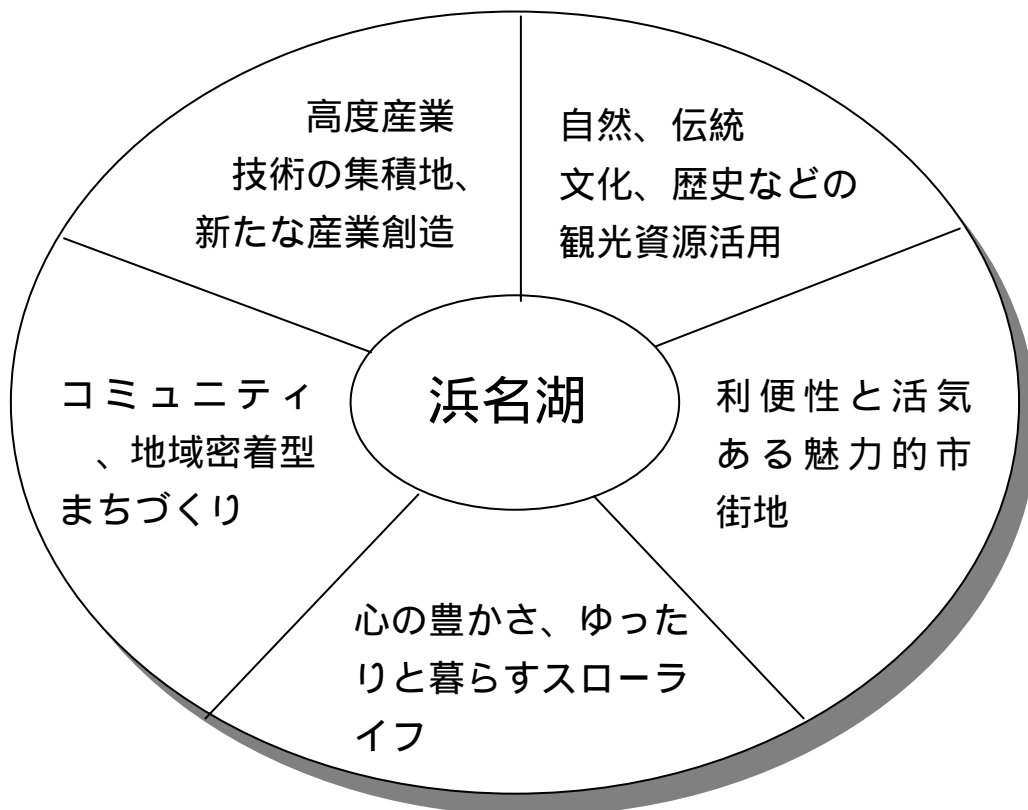
## 3.2 五感で感じる街

新年を迎えた街や神社などいろいろな所で日常生活の中とは違った空気を感ずることがあります。その場所、目に映る物にも新年の特別な催しがあるが、それより一人一人のこれからの一年に向けての新たな気持ちがオーラとなって感ずるものではないでしょうか。そして一番大きな要素としては、自分自身の気持ちが前向きで安定しているからであるのかもしれない。

街をつくりだす大切な要素の一つとしては、そこに住む一人一人の心の豊かさ、また街を訪れた人々のやすらぎが地域を包み込む空気をつくる感ずることがあります。その街の空気に触れることにより何かを感ず“やすらぎ”や“楽しみ”、“気分転換”などの気持ちをいただくことで生活の中に満足感を与えることが大切になります。生活環境の利便性もそうであるがその街への“あこがれ”を生み出す重要な一つであります。

### 3.3 浜名湖を中心とした地域の個性が競演

浜名湖の豊かな自然環境に、ものづくりの街として育んできた技術、周辺の森林、水量豊富な天竜川、砂浜が続く海「豊かな自然と技術が融合した都市」他に類を見ないクラスター型都市をめざします。

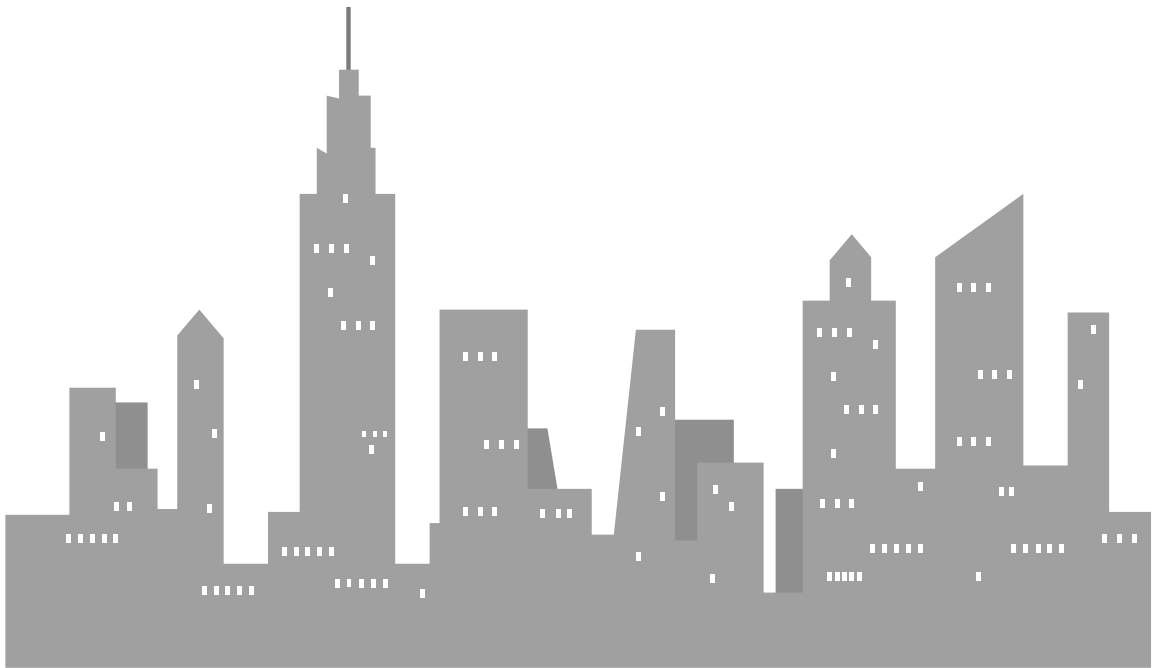


個性をいかした地域による浜名湖を中心とした連携のまちづくり

浜名湖ダイヤモンドクラスター都市は、五つの地域住民全員が共用する浜名湖となり、また浜松駅や周辺の海、森林、川などその他の施設も市民共通のものとなるのであります。

五つの個性ある地域の競演で“あこがれ”の都市をつくりだしましょう。

# まちづくりを具体化するための キーワード



## 4.1 世界都市

合併して政令指定都市になることは、「手段」であって「目的」ではありません！

わたしたちの目的は、静岡県西部地域を世界の人々みんなが憧れるイメージの鮮明な「世界都市」にすることです。

## 4.2 都市内分権と相互補完

わたしたちの提言は、浜松市の中心部だけ発展し、周辺部がとり残されるものではありません。浜名湖を取り巻く五つの地区が、それぞれの伝統・文化・歴史・産業を活かして、それぞれが特色ある街づくりを行います。そして五つの地区が相互に補完しあって、浜名湖ダイヤモンドクラスター都市という文化圏を創造します。行政機能も「小さな市役所、大きな区役所」となります。

## 4.3 物づくりの街からの発展

静岡県西部地域、特に浜松市は従来から「物づくりの街」として発達し、工業生産高は日本有数です。しかし、21世紀を向かえて産業空洞化は、不可避となりました。

そこで、これからは「物づくりの街」をさらに発展・充実させるとともに新しい都市型サービス産業（情報・観光・マーケティング等）を興こしていかなければなりません。

## 4.4 環境保全都市

21 世紀の街づくりには、環境保全が不可欠です。浜名湖や天竜川流域の豊かな自然との共生をめざします。

## 4.5 政令指定都市構想研究会

政令指定都市については、経済界（静岡経済同友会浜松協議会）主導で、平成 14 年 4 月、浜名湖市構想策定研究会が発足しています。

さらに、「環浜名湖政令指定都市構想研究会」が立ち上がり、同年 10 月 7 日に第 1 回、11 月 6 日に第 2 回会議が開催されています。参加メンバーは、次のとおりです。

参加市町村	浜松市、浜北市、湖西市、天竜市、舞阪町、新居町、雄踏町、細江町、引佐町、三ヶ日町、春野町、佐久間町、水窪町、龍山村
メンバー	各市町村の助役
オブザーバー	磐田市、竜洋町（磐田市、福田町、竜洋町、豊田町の代表）

## 4.6 合併協議会

合併特例法の期限である平成 17 年 3 月末日までに、あまり時間的余裕はありません。研究会から合併協議会への移行時期は、平成 15 年 8 月ごろがタイムリミットとなります。合併協議会への参加には、各市町村の議会の承認が必要です。その後は、合併建設計画の策定に入ることになります。

## 4.7 住民説明会

前記の手続きにおいてもっとも肝心なことは、住民意思を尊重し、その声を街づくりに反映させることです。新しい都市をつくることは、住民の日常生活にも大きな影響を及ぼします。新しい市の名前をどうするか、市役所はどこに置くか、行政サービスは低下しないかなど住民の不安を取りのぞき、かつ地域住民の要望や意見を尊重することがスムーズな合併の前提となります。

現在、住民が研究会を傍聴することが可能であり、各自治体は、ホームページ等で情報を公開しています。

しかし、これだけでは不十分であり、各市町村が、小規模な住民集会を積極的に開催していくことを要望します。

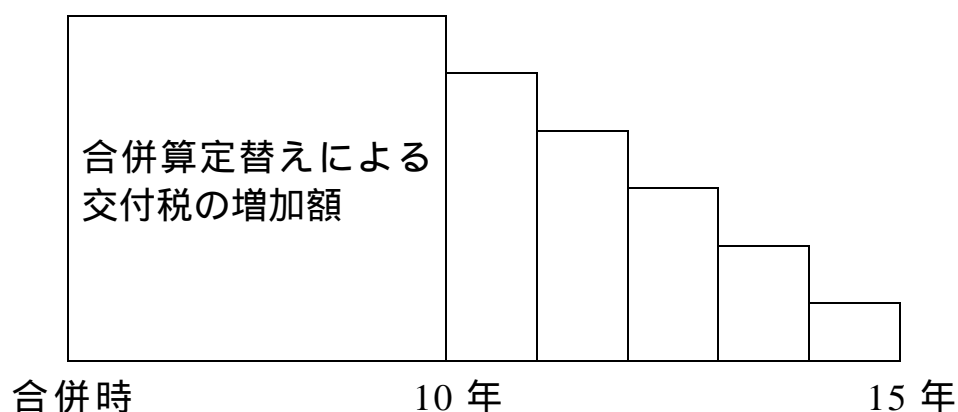
## 4.8 地方交付税

地方交付税額の算定の特例（合併特例法第11条）

これは、合併後10ヶ年度は合併しなかった場合の普通交付税額が全額保障されます。その後5年度は、段階的に減縮されますが、激減緩和措置がとられます。

すなわち、10年間は、従来の交付金が減額されることはなく、この間に新しい街づくりの基礎を固めることができます。

(11年度目から段階的削減)



## 4.9 合併特例債

合併後 10 年度は、市町村建設計画に基づく特に必要な経費に特例地方債（いわゆる合併特例債）を充当（95%）し、元利償還金の 70%を地方交付税措置とする。環浜名湖市が成立した場合、約 800 億円が見込まれる。すでに合併を決議した静岡市と清水市では、100 億円のバーチャル水族館・オペラハウス・新庁舎などが計画されている。ただし、こうした形での地方債増発で、地方財政危機がさらに進む可能性もあり、合併特例債をどう使うかは、慎重な議論が必要と思われる。

### 参考資料

『浜松市商工業振興計画策定事業 H13.3』

『浜松の商工業』

『第 4 次浜松市総合計画』

『21 世紀型産業集積都市はままつ』

『地域共生のまちづくり』 三村 浩史、地域共生編集委員会 編著

『都市計画』 日笠 端、日端 康雄著